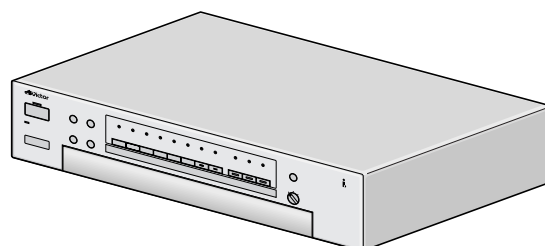
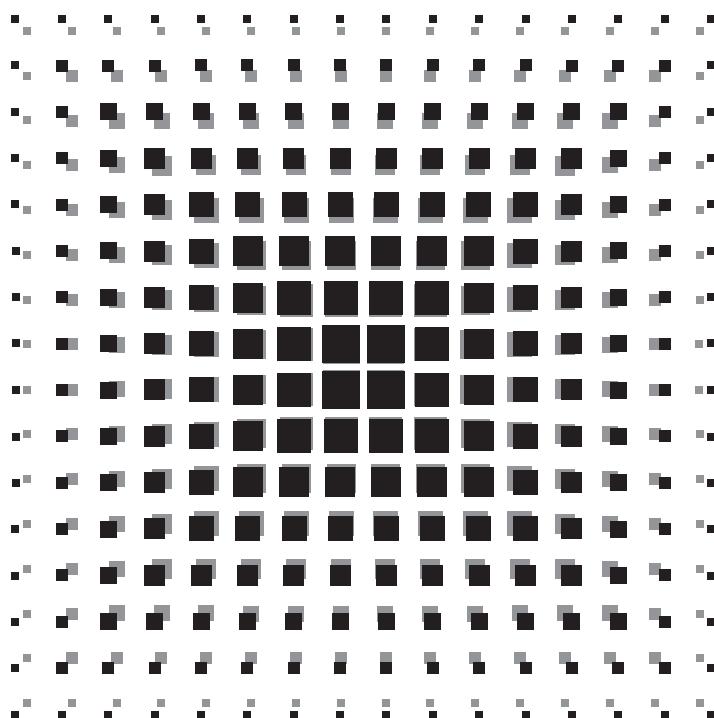
取扱説明書

AVセレクター

型名 **JX-S777**

AV SELECTOR
JX-S777

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください
特に4、5ページ「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

主な特長

今日からミニ編集室のディレクター

入力8、出力5、モニター出力2、オーディオ出力1
プロセッサー入出力1、5系統のマルチダビングができる

充実の入出力端子

編集ルーム
マルチダビング
パラレルダビング

デジタルCS
チューナー

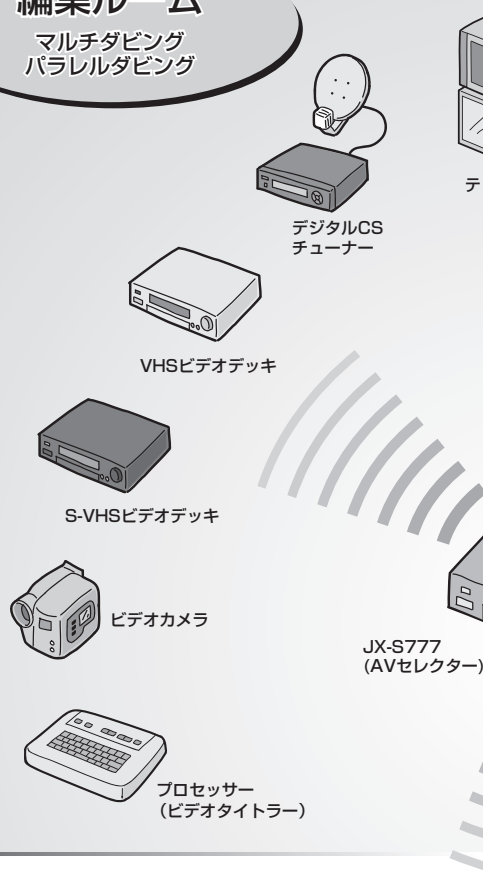
テレビ

VHSビデオデッキ

S-VHSビデオデッキ

ビデオカメラ

プロセッサー
（ビデオタイトラー）

JX-S777
(AVセレクター)

DV機器のマルチダビングができる

DV端子搭載

デジタルルーム
デジタルだからできる
美しい画像の編集、ダビング

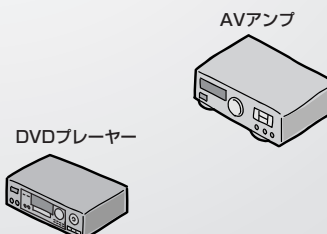
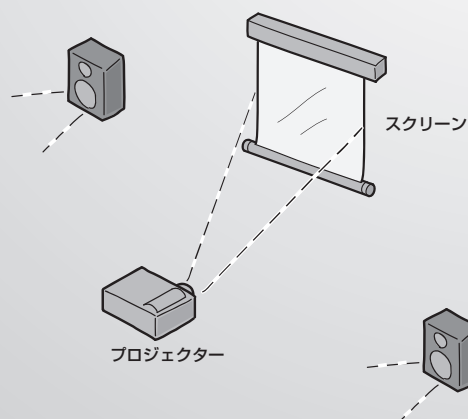
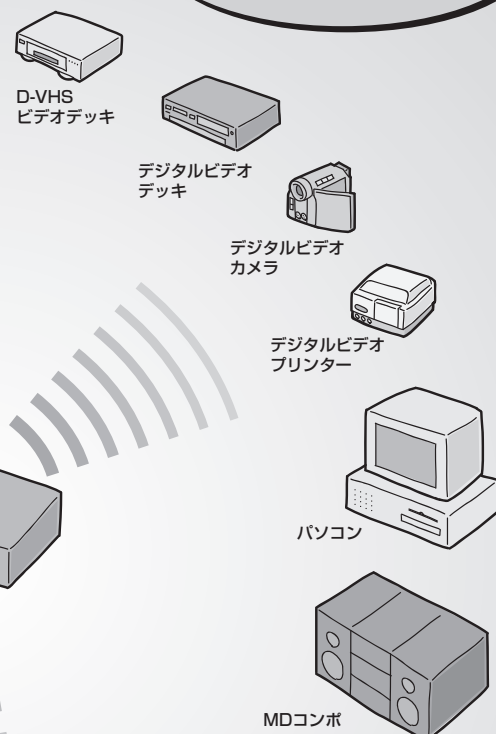
D-VHS
ビデオデッキ

デジタルビデオ
デッキ

デジタルビデオ
カメラ

デジタルビデオ
プリンター

パソコン

MDコンポ

DVDやCDの高画質、高音質をそのままに

コンポーネント端子、OPTICAL（オプティカル）端子搭載

もくじ

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中には具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグにはふれないでください。
感電の原因となります。

- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合､火災・感電の原因となります。

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して､けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。また種類の異なる乾電池や新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。乾電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は､乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本書の見かたと梱包品のご確認

●本書の見かた●

本書では、はじめて使うかたでも簡単に接続・操作方法が覚えられるよう、ビデオデッキなどを使った基本的な手順から DV 機器、パソコンなどを使った応用的な手順を説明しています。

また、内容を読みやすくするために次のようなマーク、記号を使用しています。

操作や手順に関する注意事項が書かれています。

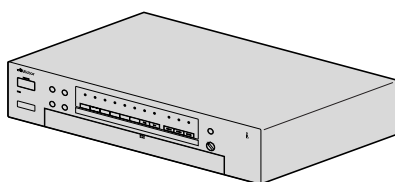
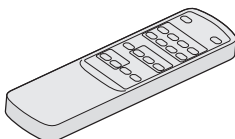
操作や機能などの付加的な情報が書かれています。

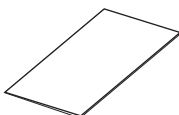
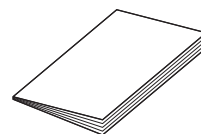
接続に関する注意事項が書かれています。

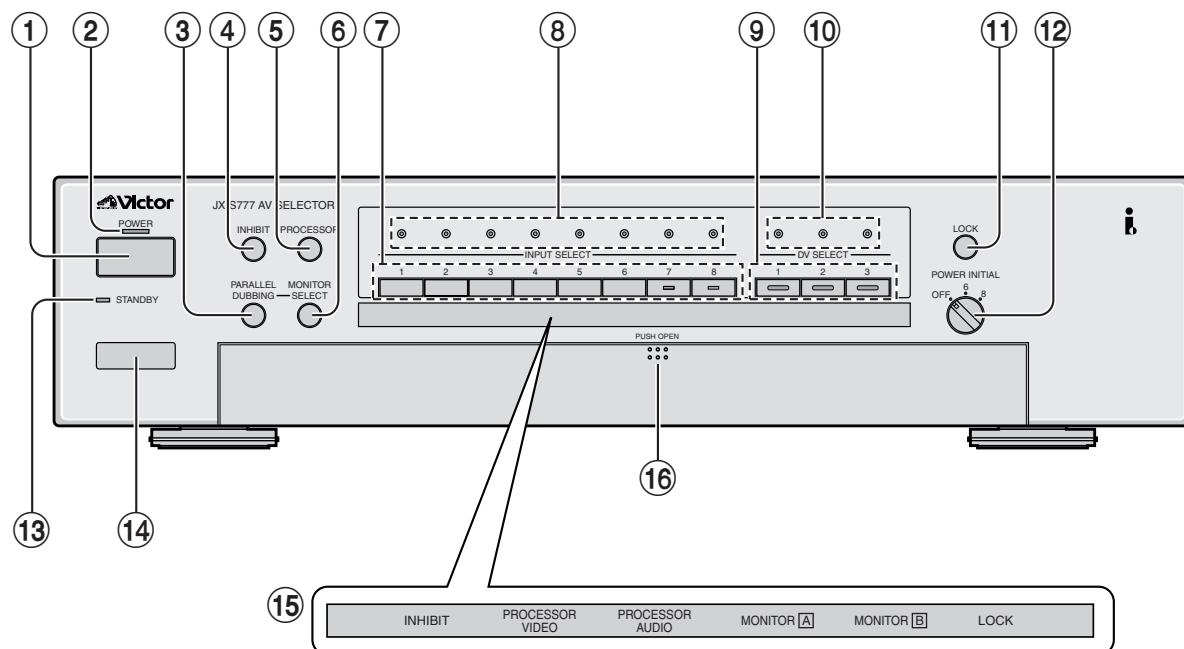
接続に関する付加的な情報が書かれています。

●梱包品のご確認●

AV セレクター JX-S777 の箱には、以下のものが同梱されています。

本体（JX-S777）

リモコン（RM-AS777）

単3乾電池2本
（動作確認用）

保証書

取扱説明書（本書）

各部の名称

本体前面

① **POWER（電源）ボタン**
電源をON/OFFします。

② **POWER（電源）ランプ**
電源ON時に点灯します。

③ **PARALLEL DUBBINGボタン**（☞**21**、**46**ページ）
パラレルダビング（同時に2種類のソフトをダビング）をするときに押します。パラレルダビングモードでは、INPUT SELECT 1～7のいずれかのランプと8のランプが点灯します。

④ **INHIBITボタン**（☞**15**、**45**ページ）
INPUT SELECTで選択された入力機器の信号（映像／音声）を同じ番号の出力端子に出力させないときに押します。

⑤ **PROCESSORボタン**（☞**37**、**39**ページ）
プロセッサー入出力端子に編集機を接続し、編集をするときに押します。

⑥ **MONITOR SELECTボタン**（☞**19**、**46**ページ）
パラレルダビング時（同時に2種類のソフトをダビング）に、A/Bどちらの系統をテレビに出力するかを選びます。

⑦ **INPUT SELECTボタン**（☞**15**、**17**ページ）
入力機器をこのボタンにより選びます。

⑧ **INPUT SELECTランプ**（☞**15**、**17**ページ）
INPUT SELECTで選ばれた入力機器のランプが、赤色で点灯します。

⑨ **DV SELECTボタン**（☞**31**、**33**ページ）
使用するDV機器をこのボタンにより選びます。

⑩ **DV SELECTランプ**（☞**31**、**33**ページ）
DV SELECTで選ばれたDV機器のランプが、青色で点灯します。

⑪ **LOCKボタン**（☞**19**、**47**ページ）
MONITOR SELECTボタン、LOCKボタン以外のボタン操作を無効にします。

⑫ **POWER INITIALスイッチ**（☞**27**ページ）
JX-S777をビデオなどのAC連動コンセントに接続して、タイマー動作させるときに使います。

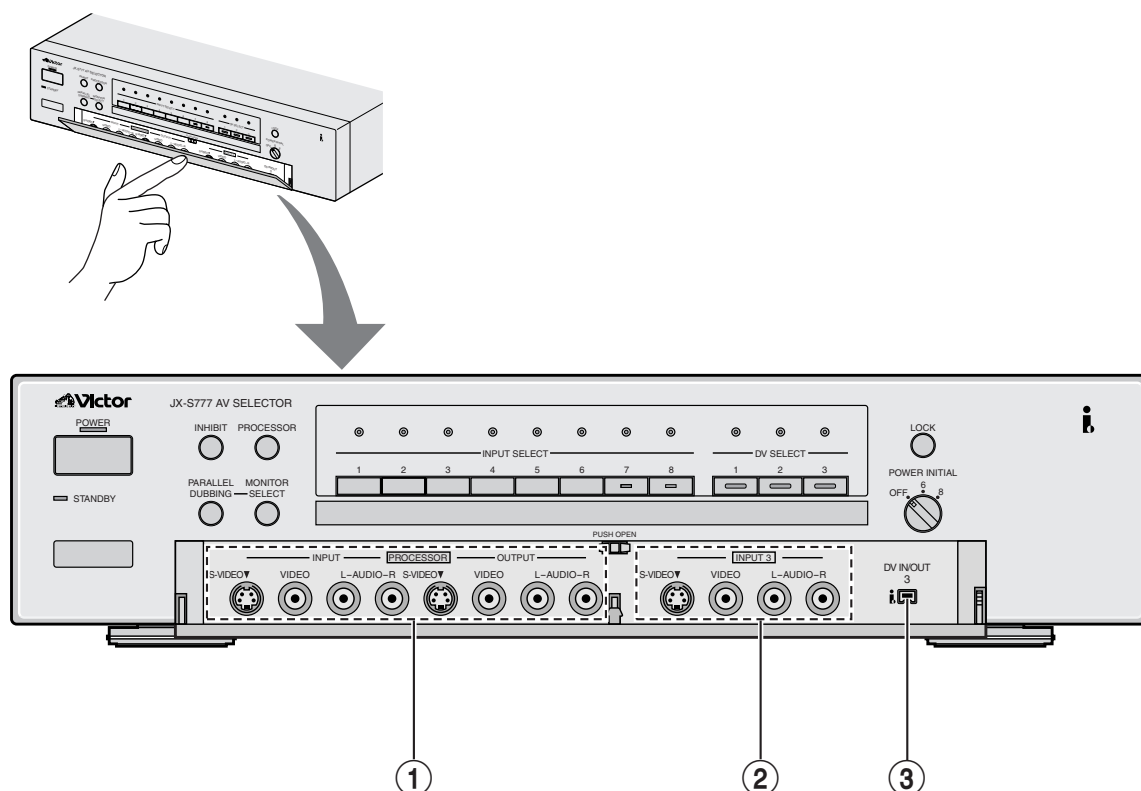
⑬ **STANDBYランプ**
電源ONで消灯し、OFFで点灯します。

⑭ **リモコン受光部**（☞**11**ページ）

⑮ **本体表示窓**
JX-S777の操作状態を表示します。

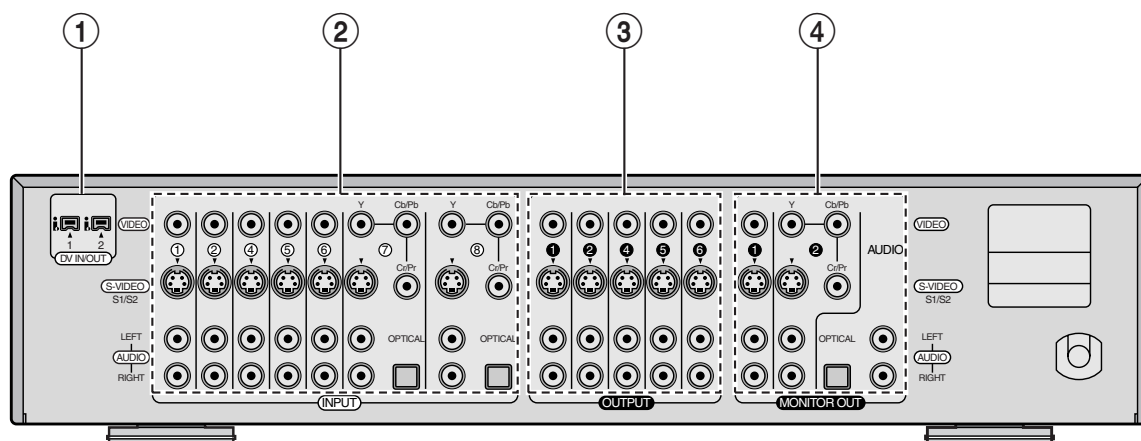
⑯ **PUSH OPEN**
押すと前面の扉が開きます。

各部の名称（つづき）

ドア内部

① PROCESSOR（プロセッサー）入出力端子（☞**36**、**38** ページ）
映像、音声の編集をするときに編集機とつなぎます。
S 映像端子は S1/S2 非対応です。

② S 映像（S1/S2 対応）、映像／音声入力端子
（☞**22**、**49** ページ）
ビデオカメラなどからダビングするときに使います。

③ DV 入出力端子（DV IN/OUT3）
（☞**30**、**47** ページ）
デジタルビデオカメラなどからダビングするときに使います。

本体背面

① DV 入出力端子（DV IN/OUT 1、2）
（☞**32**、**47** ページ）
デジタルビデオデッキ、DV端子をもつパソコンなどとつなぎます。

② 入力端子（INPUT 1、2、4、5、6、7、8）

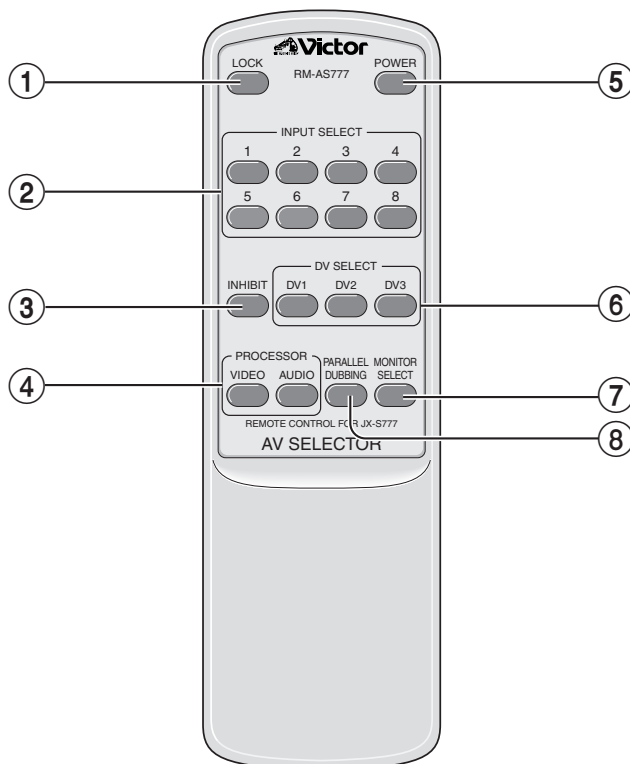
- S 映像（S1/S2 対応）、映像／音声入力端子
（☞**14**、**49** ページ）
ビデオデッキ（または他のAV 機器）のS 映像、映像／音声出力端子とつなぎます。
- コンポーネント映像入力端子（Y、Cb/Pb、Cr/Pr）
（☞**24**、**48** ページ）
DVDプレーヤー、デジタルCSチューナーなどのコンポーネント映像出力端子をもつ機器とつなぎます。
- OPTICAL（オプティカル）（光デジタル）音声入力端子
（☞**28**、**48** ページ）
CD または MD プレーヤー、デジタル CS チューナーなどの OPTICAL 出力端子をもつ機器とつなぎます。

③ 出力端子（OUTPUT 1、2、4、5、6）

- S 映像（S1/S2 対応）、映像／音声出力端子
（☞**14**、**49** ページ）
ビデオデッキ（または他のAV 機器）のS 映像、映像／音声入力端子とつなぎます。

④ モニター出力端子(MONITOR OUT 1、2)

- S 映像（S1/S2 対応）、映像／音声出力端子
（☞**14**、**49** ページ）
テレビやプロジェクターのS映像、映像／音声入力端子とつなぎます。
- コンポーネント映像出力端子（Y、Cb/Pb、Cr/Pr）
（☞**24**、**48** ページ）
ハイビジョンテレビなどのコンポーネント映像入力端子をもつ機器とつなぎます。
- 音声、OPTICAL（オプティカル）（光デジタル）音声出力端子
（☞**28**、**48** ページ）
MD コンポ、AV アンプなどの音声、OPTICAL 入力端子をもつ機器とつなぎます。

リモコン

① LOCK（ロック）ボタン（☞**19**、**47** ページ）
MONITOR SELECTボタン、LOCKボタン以外のボタン操作を無効にします。

② INPUT（インプット） SELECT（セレクト）ボタン（☞**15**、**17** ページ）
入力機器をこのボタンにより選びます。

③ INHIBIT（インヒビット）ボタン（☞**15**、**45** ページ）
INPUT SELECTで選択された入力機器の信号（映像／音声）を同じ番号の出力端子に出力させないときに押します。

④ PROCESSOR（プロセッサー）ボタン（☞**37**、**39** ページ）
プロセッサー入出力端子に編集機を接続し、編集をするときに押します。

⑤ POWER（電源）ボタン
電源をON/OFFします。

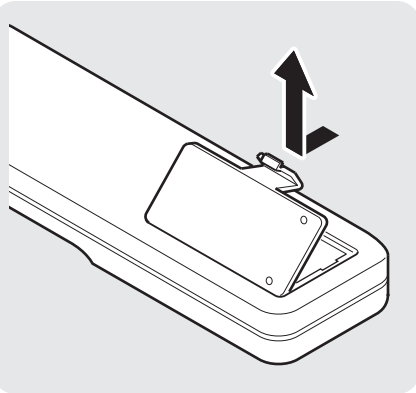
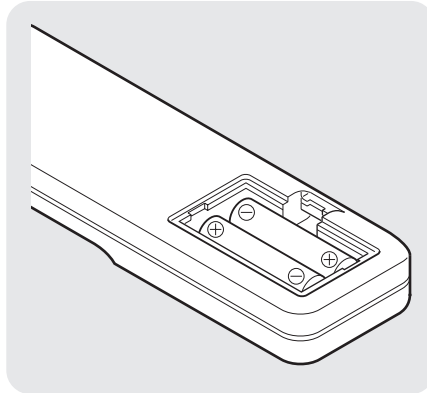
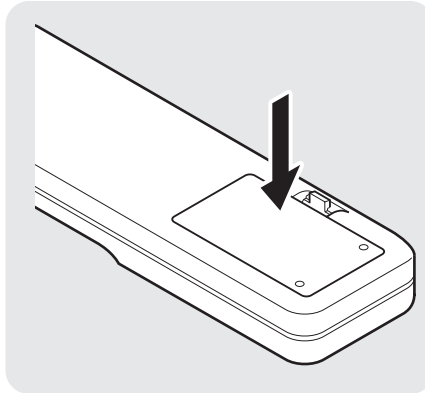
⑥ DV SELECT（セレクト）ボタン（☞**31**、**33** ページ）
使用するDV機器をこのボタンにより選びます。

⑦ MONITOR（モニター） SELECT（セレクト）ボタン（☞**19**、**46** ページ）
パラレルダビング時（同時に2種類のソフトをダビング）に、A/Bどちらの系統をテレビに出力するかを選びます。

⑧ PARALLEL（パラレル） DUBBING（ダビング）ボタン（☞**21**、**46** ページ）
パラレルダビング（同時に2種類のソフトをダビング）をするときに押します。

リモコンの使いかた

乾電池を入れる

つまみを押しながらフタを開ける

単３乾電池２本を入れる

フタを閉める

ご注意

乾電池使用上のご注意

乾電池の誤った使いかたをしますと液漏れや破壊する危険がありますので次の点にご注意ください。

1. 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
2. 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投げ入れたりしないでください。
3. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

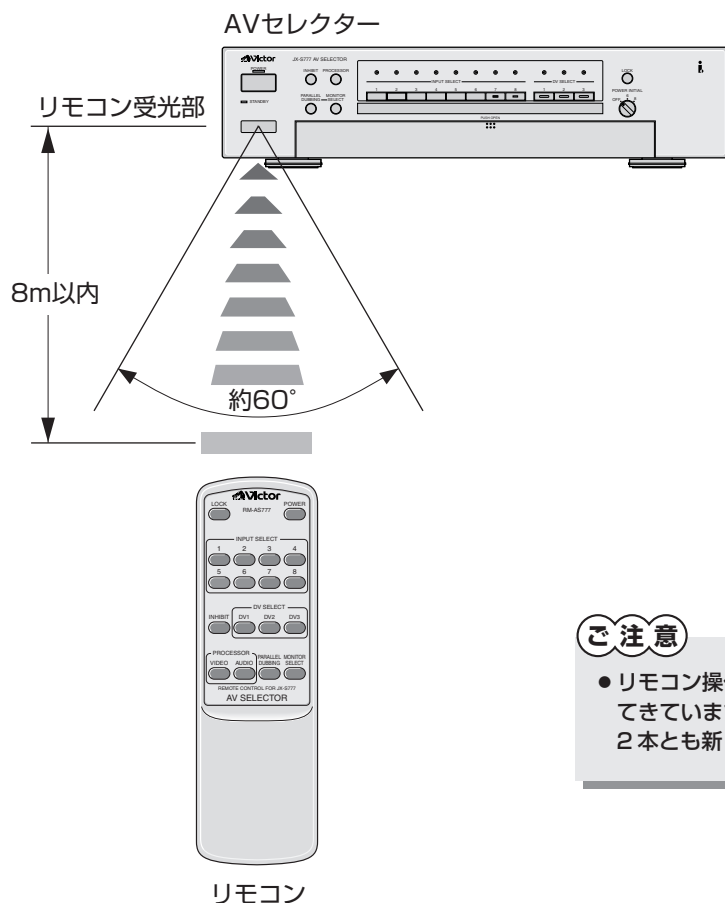
●乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
※付属の乾電池は、お客様の動作確認用です。

リモコンの操作範囲

AVセレクター

リモコン受光部

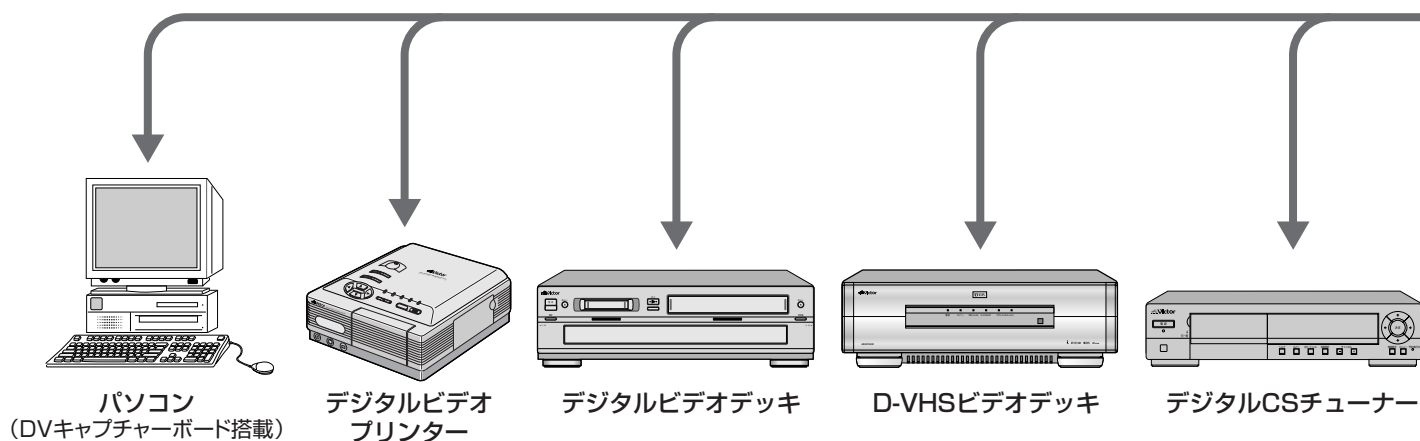
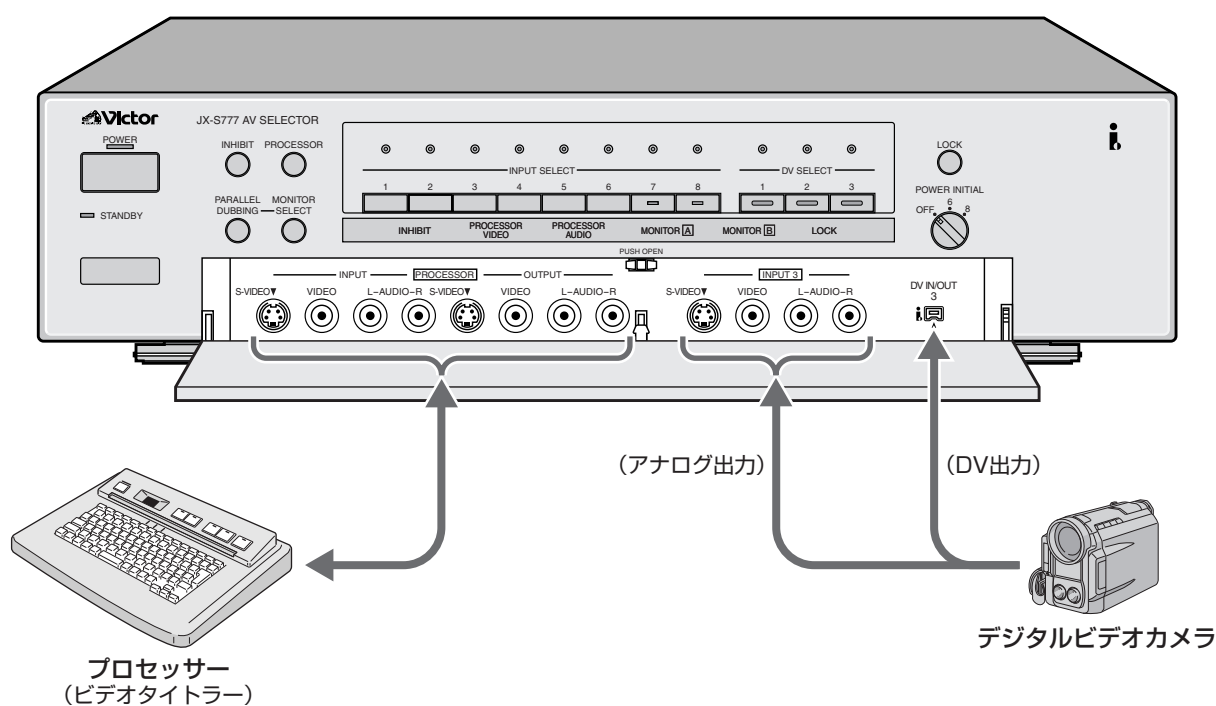
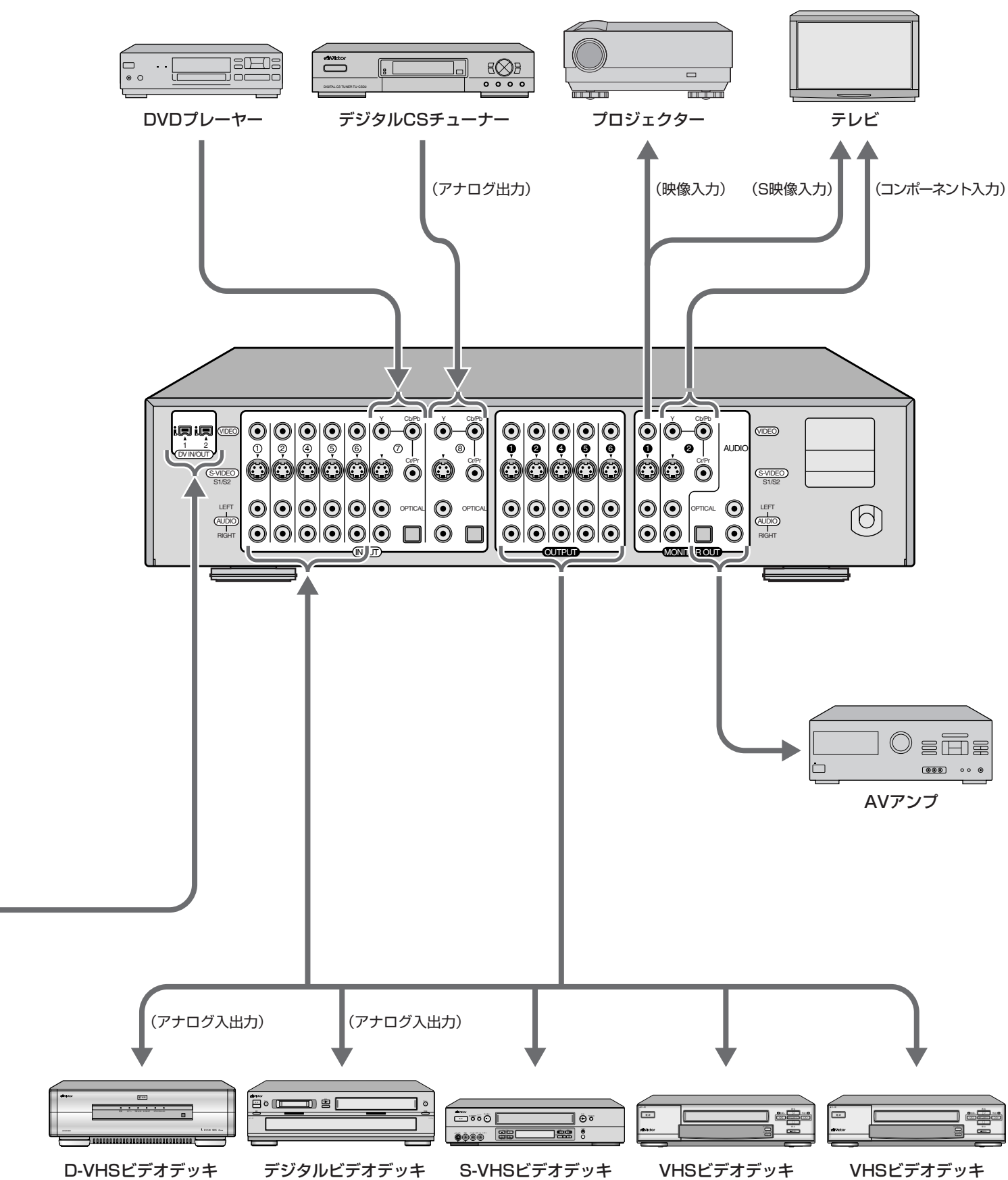
8m以内

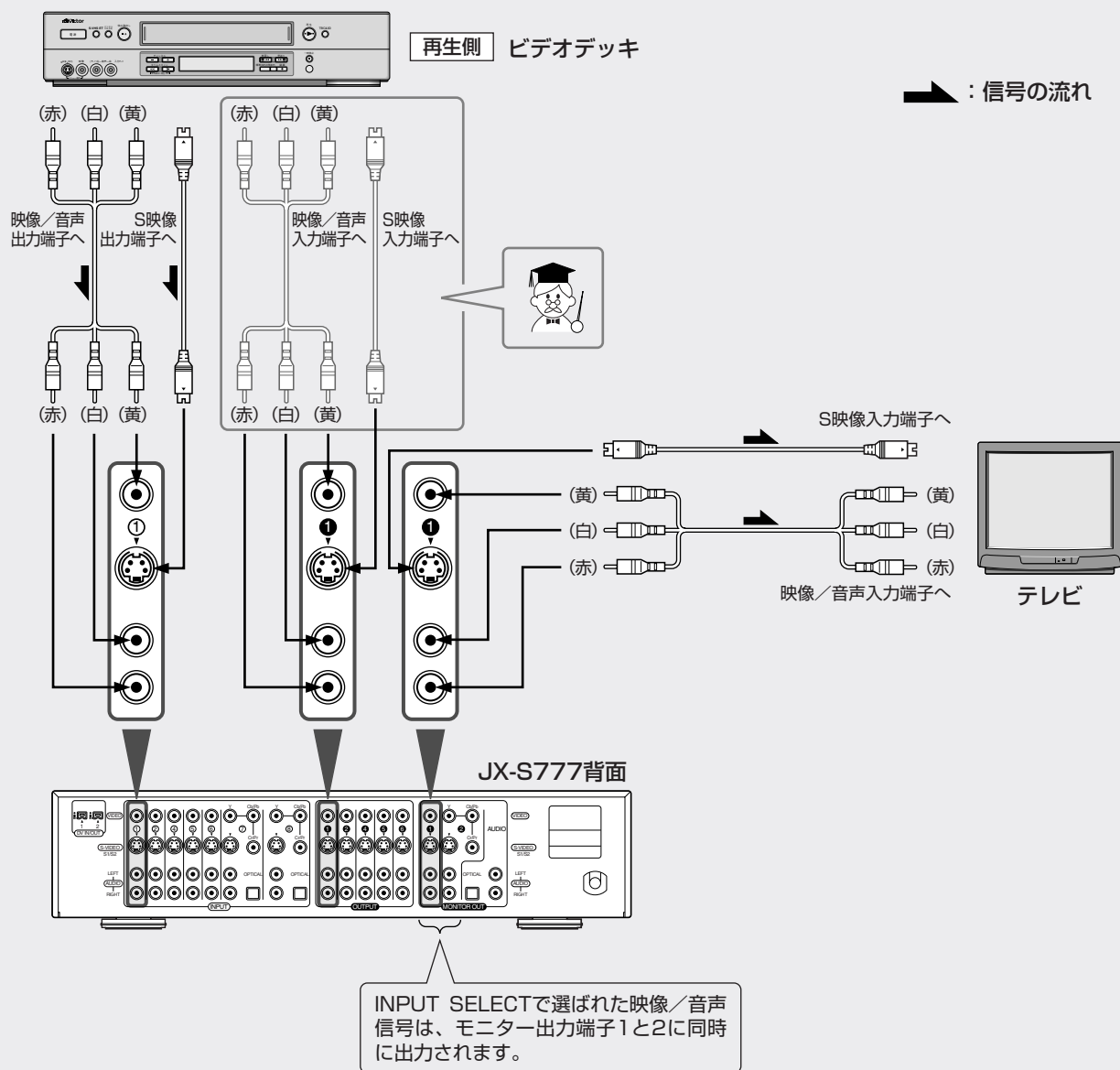
約60°

リモコン

ご注意

● リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
２本とも新しい電池（単３乾電池）に交換してください。

システム構成例

AVセレクターで広がるAVワールド

ビデオ（入力端子 1）を見てみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　ビデオデッキ

：信号の流れ

（赤）（白）（黄）

映像／音声
出力端子へ

S映像
出力端子へ

（赤）（白）（黄）

映像／音声
入力端子へ

S映像
入力端子へ

S映像入力端子へ

（黄）
（白）
（赤）

映像／音声入力端子へ

テレビ

JX-S777背面

INPUT SELECTで選ばれた映像／音声信号は、モニター出力端子1と2に同時に出力されます。

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビ、ビデオデッキにS映像入力／出力端子があるときは、S映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

- ビデオデッキを録画用として使用できるように、JX-S777の出力端子と接続してお使いください。

1 JX-S777 の電源を入れる

● “POWER” ボタンを押します。

2 見たいビデオを選ぶ

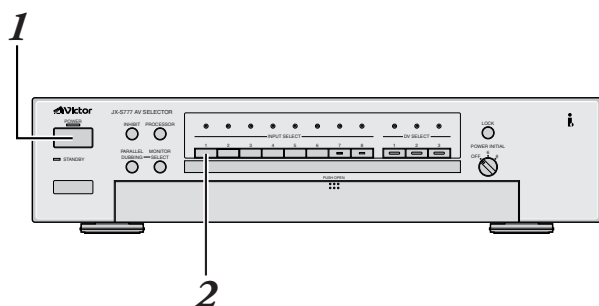
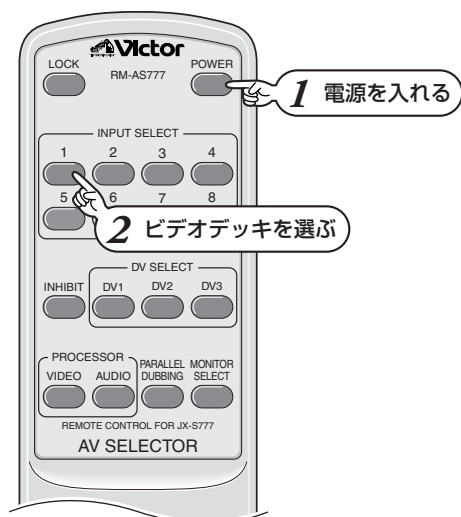
● INPUT SELECT の “1” ボタンを押します。

（すでにJX-S777のINPUT SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。）

3 テレビの電源を入れて、入力を切換える

● テレビの電源を入れて、JX-S777のモニター出力端子と接続された入力を選びます。

4 ビデオデッキの電源を入れ、テープを再生する

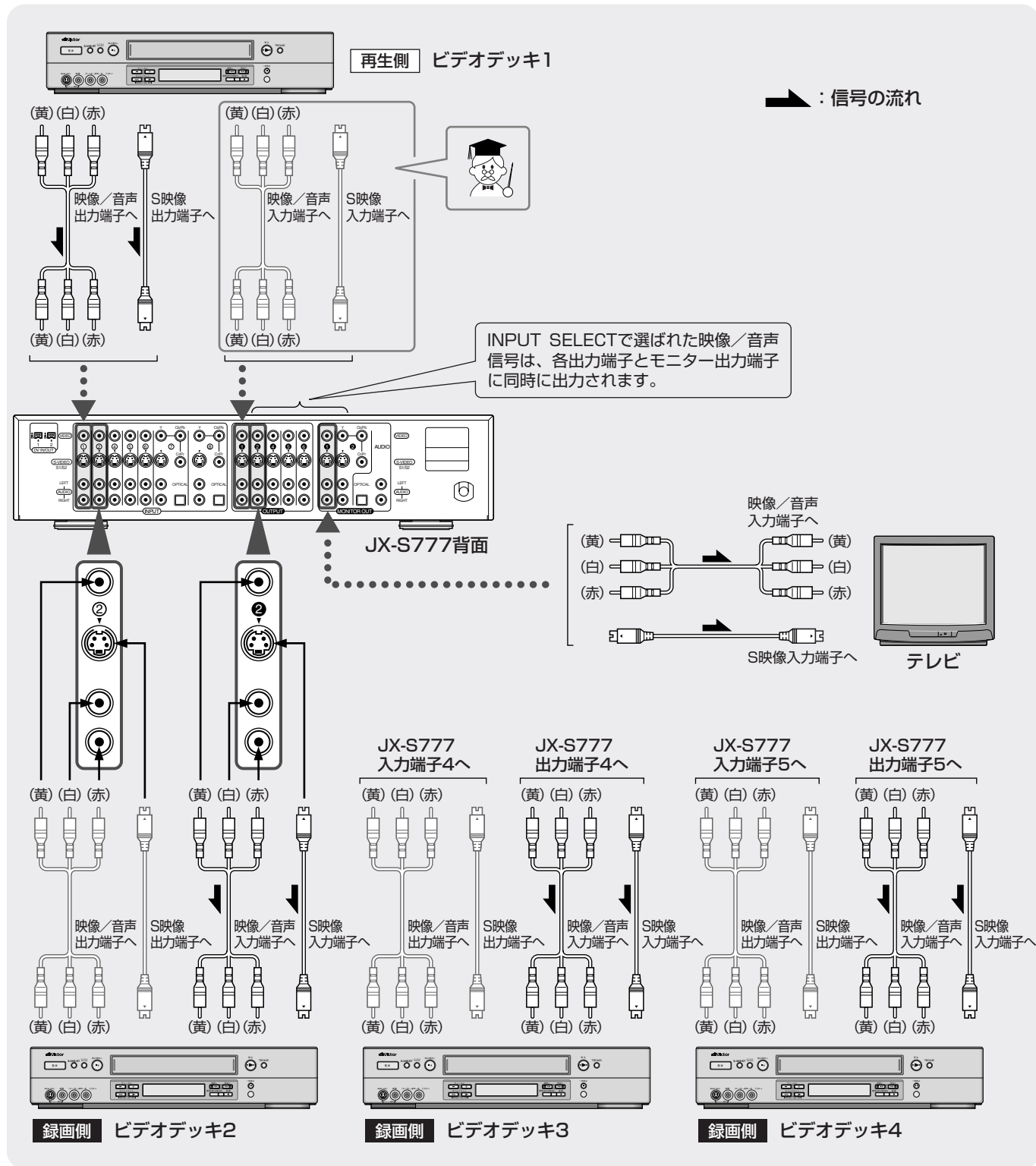
基本操作

● 他のビデオを見るには、そのビデオデッキが接続された番号のINPUT SELECT に切換えてください。

ご注意

● INHIBIT は ON 状態にしてお使いください。（☞**45** ページ）
● LOCK ボタンを押すと INPUT SELECT などのボタン操作ができません。（☞**47** ページ）

ダビングする（マルチダビング）

ビデオデッキ１（入力端子１）から複数のビデオデッキ（出力端子２、４、５）にダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　ビデオデッキ1

：信号の流れ

（黄）（白）（赤）
映像／音声出力端子へ　S映像出力端子へ
映像／音声入力端子へ　S映像入力端子へ

INPUT SELECTで選ばれた映像／音声信号は、各出力端子とモニター出力端子に同時に出力されます。

JX-S777背面

映像／音声入力端子へ
S映像入力端子へ
テレビ

JX-S777 入力端子4へ　JX-S777 出力端子4へ　JX-S777 入力端子5へ　JX-S777 出力端子5へ

録画側　ビデオデッキ2　録画側　ビデオデッキ3　録画側　ビデオデッキ4

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビ、ビデオデッキにS映像入力／出力端子があるときは、S映像端子をつないでください。よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

- ビデオデッキ１を録画用として使用できるように、JX-S777の出力端子と接続してお使いください。
（ビデオデッキ２～４はJX-S777の入力端子と接続してください。）

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・ビデオデッキ１～４の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

1 ビデオデッキ1を入力機器として設定する

● INPUT SELECT の“1”ボタンを押します。

（すでにJX-S777のINPUT SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。）

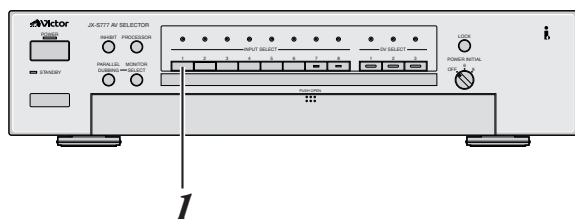
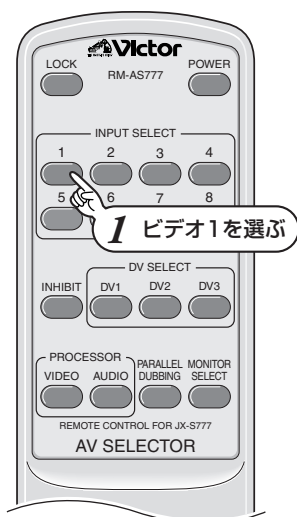
2 ビデオデッキ 1 を再生する

ビデオデッキ1

3 ビデオデッキ２～４の録画を開始する

ビデオデッキ2～4

ご注意

● ダビングするときは、録画用ビデオデッキの入力切換えスイッチなどを必ず外部入力モード（AUX など）にしてください。
● S 映像入力端子を使って録画するときは、録画用ビデオを“S 入力”にしてください。

● ダビングした映像を確認するには、ダビングしたビデオを再生し、そのビデオデッキが接続された番号の INPUT SELECT に切換えてください。
● 他のビデオデッキからのダビングも同様です。例えば、入力端子5に接続されたビデオデッキから他のビデオデッキにダビングするには、JX-S777の電源を入れたあと、INPUT SELECT “5”のボタンを押してください。
その後、ダビング操作を行ってください。

ご注意

● INHIBIT は ON 状態にしてお使いください。（☞45 ページ）
● ビデオのソフトによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなソフトをビデオデッキでダビングすると、コピーガードシステムにより正常にダビングできません。
● あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画しながら他のソフトを見る

デジタルCSチューナー（入力端子８）の映像をビデオデッキ５（出力端子６）で録画しながら、ビデオ１（入力端子１）を見てみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　ビデオデッキ1

再生映像

デジタルCSチューナー

チューナー映像

(黄) (白) (赤)

映像／音声出力端子へ　S映像出力端子へ

映像／音声入力端子へ　S映像入力端子へ

(白) (赤)

音声出力端子へ　S映像出力端子へ

JX-S777
背面

映像／音声入力端子へ

(黄) (白) (赤)

S映像入力端子へ

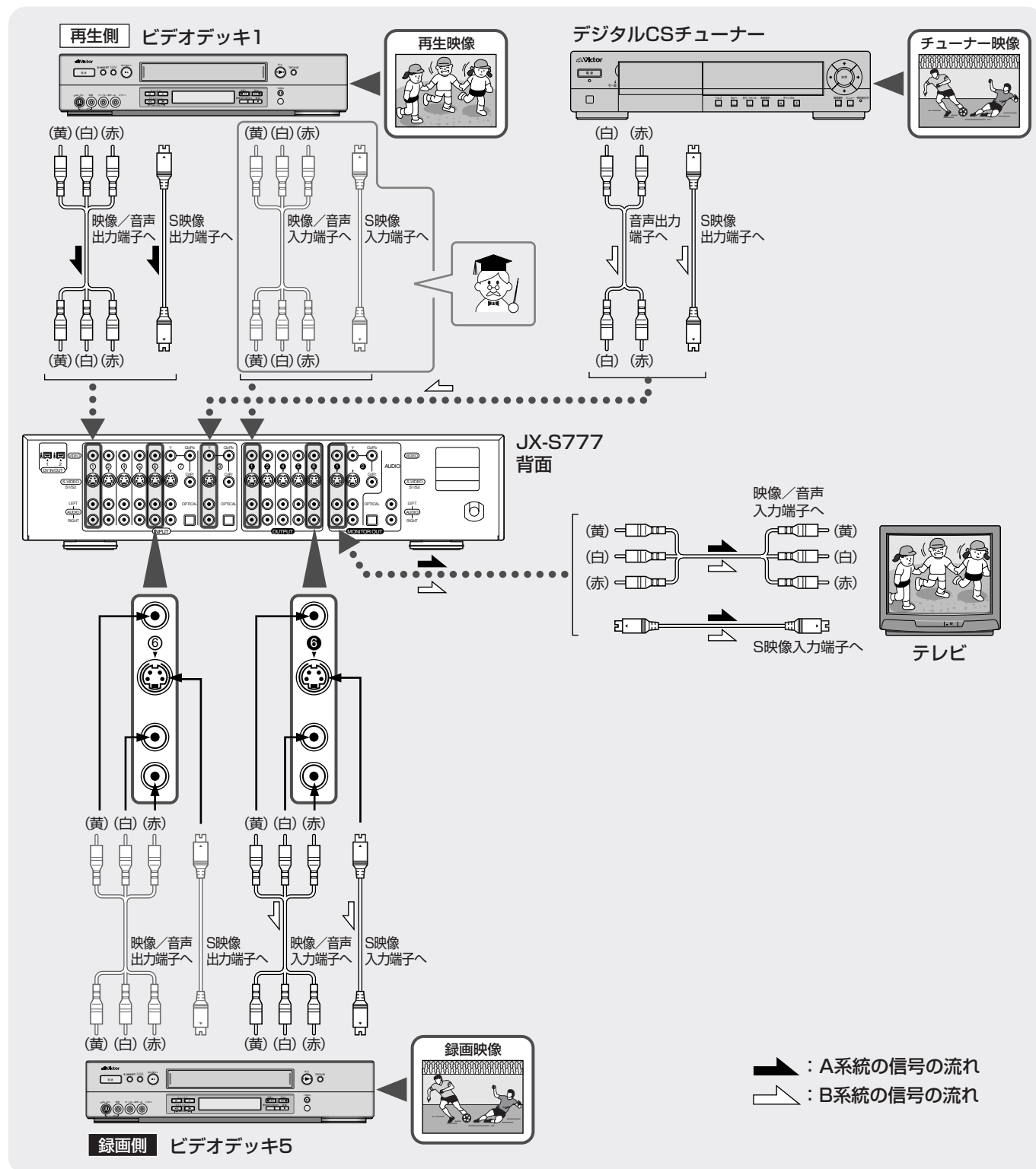
テレビ

(黄) (白) (赤)

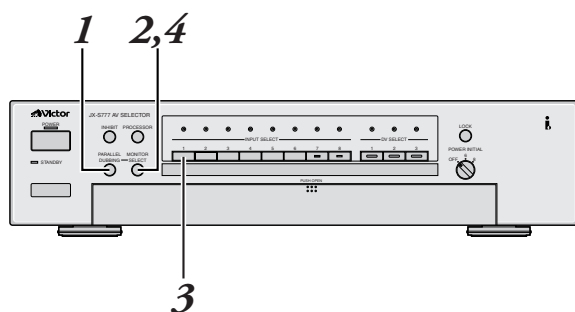
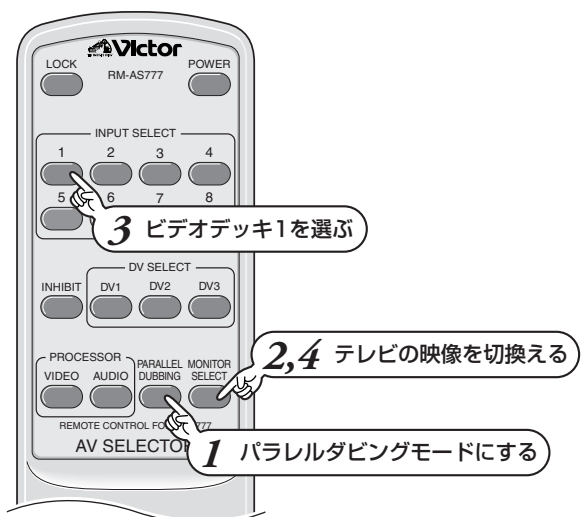
映像／音声出力端子へ　S映像出力端子へ　映像／音声入力端子へ　S映像入力端子へ

録画映像

録画側　ビデオデッキ5

：A系統の信号の流れ
：B系統の信号の流れ

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

● ビデオデッキ１を録画用として使用できるように、JX-S777の出力端子と接続してお使いください。
（ビデオデッキ５はJX-S777の入力端子と接続してください。）

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・デジタル CS チューナーなどの電源を入れて、録画、再生の準備をしておきます。

● ダビング中であっても“MONITOR SELECT”ボタンを押すことにより、ビデオデッキ1（MONITOR[A]）とデジタルCSチューナー（MONITOR[B]）の映像を切換えてテレビで見ることができます。
● “LOCK”ボタンを押すと誤った操作の防止ができ、とても便利です。（☞**47** ページ）
● PARALLEL DUBBINGの詳細については**46**ページをご覧ください。

1 パラレルダビングモードにする

● “PARALLEL DUBBING”ボタンを押します。

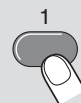
JX-S777のINPUT SELECT 8のランプと表示窓にMONITOR[A]の表示が点灯します。
（初めにINPUT SELECT 1が選ばれていれば、INPUT SELECT 1のランプも点灯し、テレビにはビデオデッキ1の映像が映ります。）

2 テレビにデジタルCSチューナーの映像を出し、ビデオデッキ5で録画する

● “MONITOR SELECT”ボタンを押します。

JX-S777の表示窓にMONITOR[B]の表示が点灯し、テレビにデジタルCSチューナーの映像が映ります。

3 ビデオデッキ1を入力機器として設定する

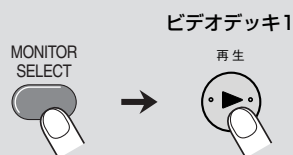
● INPUT SELECTの“1”ボタンを押します。

（すでにJX-S777のINPUT SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。）

4 ビデオデッキ 1 の映像を見る

● “MONITOR SELECT”ボタンを押します。

基本操作

ご注意

● INHIBIT は ON 状態にしてお使いください。（☞**45** ページ）
● あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

同時に2種類のソフトをダビングする（パラレルダビング）

ビデオデッキ１（入力端子１）からビデオデッキ３（出力端子２）に、ビデオデッキ２（入力端子８）からビデオデッキ４（出力端子６）に別々のソフトをダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　ビデオデッキ1
再生映像
（黄）（白）（赤）
映像／音声
出力端子へ
S映像
出力端子へ
（黄）（白）（赤）
（黄）（白）（赤）
映像／音声
入力端子へ
S映像
入力端子へ
（黄）（白）（赤）

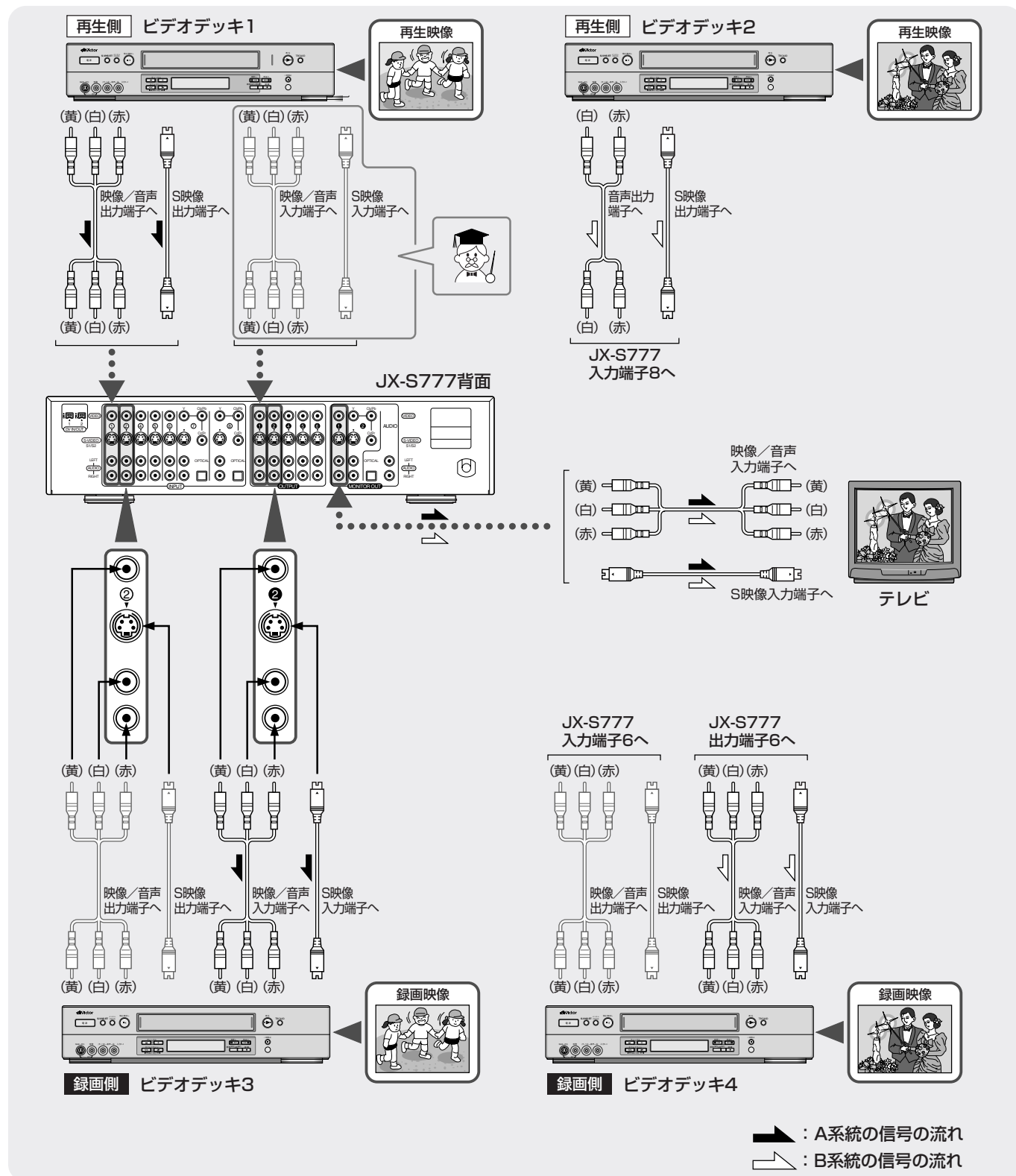
再生側　ビデオデッキ2
再生映像
（白）（赤）
音声出力
端子へ
S映像
出力端子へ
（白）（赤）
JX-S777
入力端子8へ

JX-S777背面
INPUT
OUTPUT
MONITOR OUT

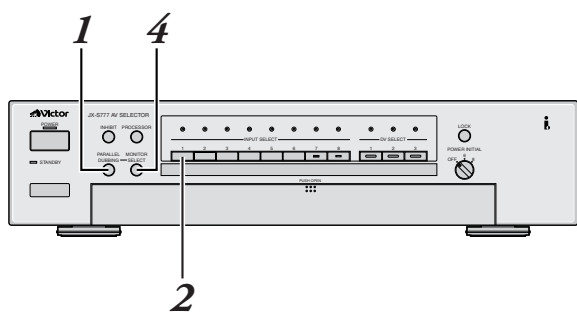
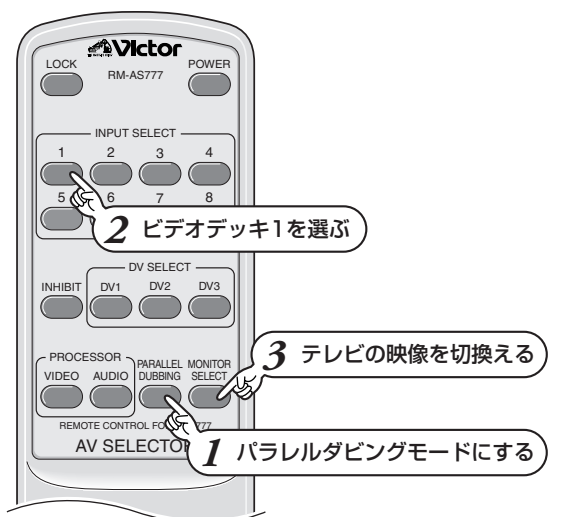
映像／音声
入力端子へ
（黄）
（白）
（赤）
（黄）
（白）
（赤）
S映像入力端子へ
テレビ

（黄）（白）（赤）
映像／音声
出力端子へ
S映像
出力端子へ
（黄）（白）（赤）
（黄）（白）（赤）
映像／音声
入力端子へ
S映像
入力端子へ
（黄）（白）（赤）
録画映像
録画側　ビデオデッキ3

JX-S777
入力端子6へ
JX-S777
出力端子6へ
（黄）（白）（赤）
映像／音声
出力端子へ
S映像
出力端子へ
（黄）（白）（赤）
（黄）（白）（赤）
映像／音声
入力端子へ
S映像
入力端子へ
（黄）（白）（赤）
録画映像
録画側　ビデオデッキ4

：A系統の信号の流れ
：B系統の信号の流れ

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

- ビデオデッキ１を録画用として使用できるように、JX-S777の出力端子と接続してお使いください。
（ビデオデッキ3、4はJX-S777の入力端子と接続してください。）

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・ビデオデッキ１～４の電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

- ダビング中であっても“MONITOR SELECT”ボタンを押すことにより、ビデオデッキ1（MONITOR Ａ）とビデオデッキ2（MONITOR Ｂ）の映像を切換えてテレビで見ることができます。
- “LOCK”ボタンを押すと誤った操作の防止ができ、とても便利です。（☞**47** ページ）
- PARALLEL DUBBINGの詳細については**46**ページをご覧ください。

ご注意

- INHIBIT（インヒビット）は ON 状態にしてお使いください。（☞**45** ページ）
- あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

1 パラレルダビングモードにする

- “PARALLEL DUBBING”ボタンを押します。

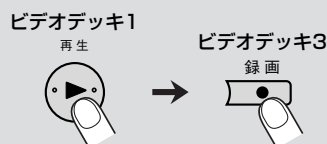
JX-S777のINPUT SELECT 8のランプと表示窓に MONITOR Ａ の表示が点灯します。
（初めに INPUT SELECT 1 が選ばれていれば、INPUT SELECT 1のランプも点灯し、テレビにはビデオデッキ 1 の映像が映ります。）

2 ビデオデッキ1を入力機器として設定する

- INPUT SELECT の“1”ボタンを押します。

（すでに JX-S777 INPUT SELECT 1 のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。）

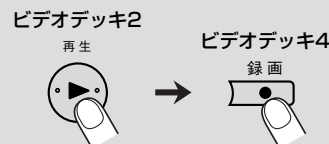
3 ビデオデッキ 1 を再生し、ビデオデッキ 3 で録画する

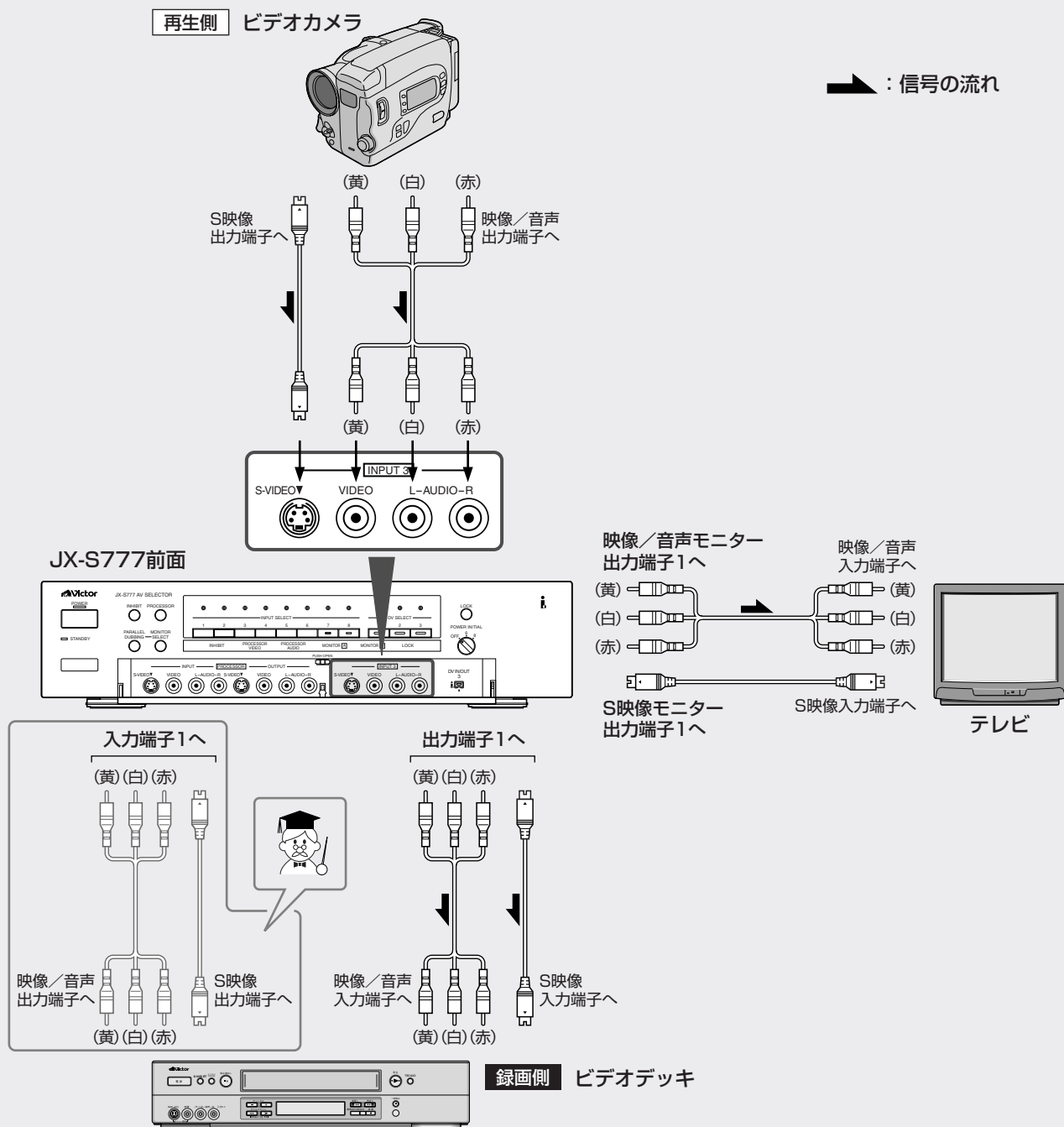
→

4 テレビの映像をビデオデッキ 2 側に切換える

- “MONITOR SELECT”ボタンを押します。

JX-S777 の表示窓に MONITOR Ｂ の表示が点灯します。

5 ビデオデッキ 2 を再生し、ビデオデッキ 4 で録画する

→

ビデオカメラからビデオデッキにダビングする

ビデオカメラ（入力端子３）からビデオデッキ（出力端子１）にダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側 ビデオカメラ

：信号の流れ

(黄) (白) (赤)

S映像
出力端子へ

映像／音声
出力端子へ

(黄) (白) (赤)

INPUT 3
S-VIDEO▼ VIDEO L–AUDIO–R

JX-S777前面

映像／音声モニター
出力端子1へ

映像／音声
入力端子へ

(黄) (白) (赤)

S映像モニター
出力端子1へ

S映像入力端子へ

テレビ

入力端子1へ

(黄) (白) (赤)

映像／音声
出力端子へ

S映像
出力端子へ

出力端子1へ

(黄) (白) (赤)

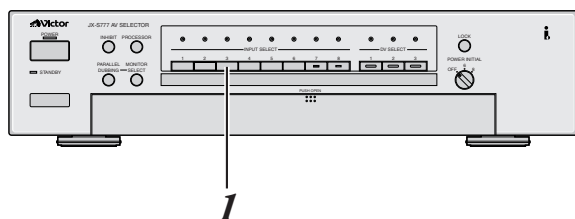
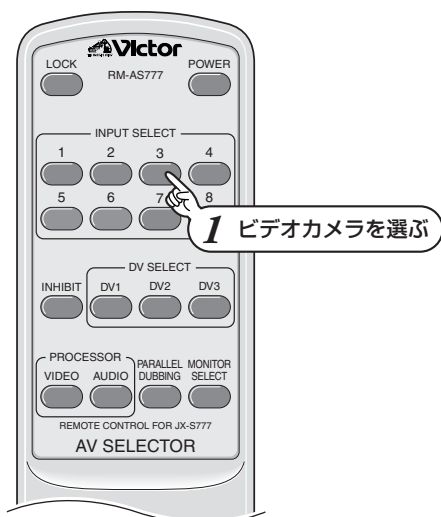
映像／音声
入力端子へ

S映像
入力端子へ

録画側 ビデオデッキ

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

● ビデオデッキを再生用として使用できるように、JX-S777の入力端子と接続してお使いください。

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・ビデオカメラなどの電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

1 ビデオカメラを入力機器として設定する

● INPUT SELECTの“3”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 3のランプが点灯します。

2 ビデオカメラを再生する

ビデオカメラ

3 ビデオデッキの録画を開始する

ビデオデッキ

● 他の出力端子に接続されたビデオデッキがあるときは、同時に複数のビデオデッキにダビングすることができます。

ご注意

● あなたがビデオテープなどに録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

DVDの映像をコンポーネント接続で見る

DVDプレーヤー（入力端子7）からコンポーネントコードで接続して、テレビ（コンポーネント端子付）で見てみましょう
また、同時にビデオデッキ（出力端子1）で録画してみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側 DVDプレーヤー

（緑）（青）（赤）
コンポーネント
出力端子へ

（赤）（白）
音声出力
端子へ

S映像
出力端子へ

（緑）（青）（赤）

Y Cb/Pb ⑦ Cr/Pr

（白）（赤） OPTICAL

：信号の流れ

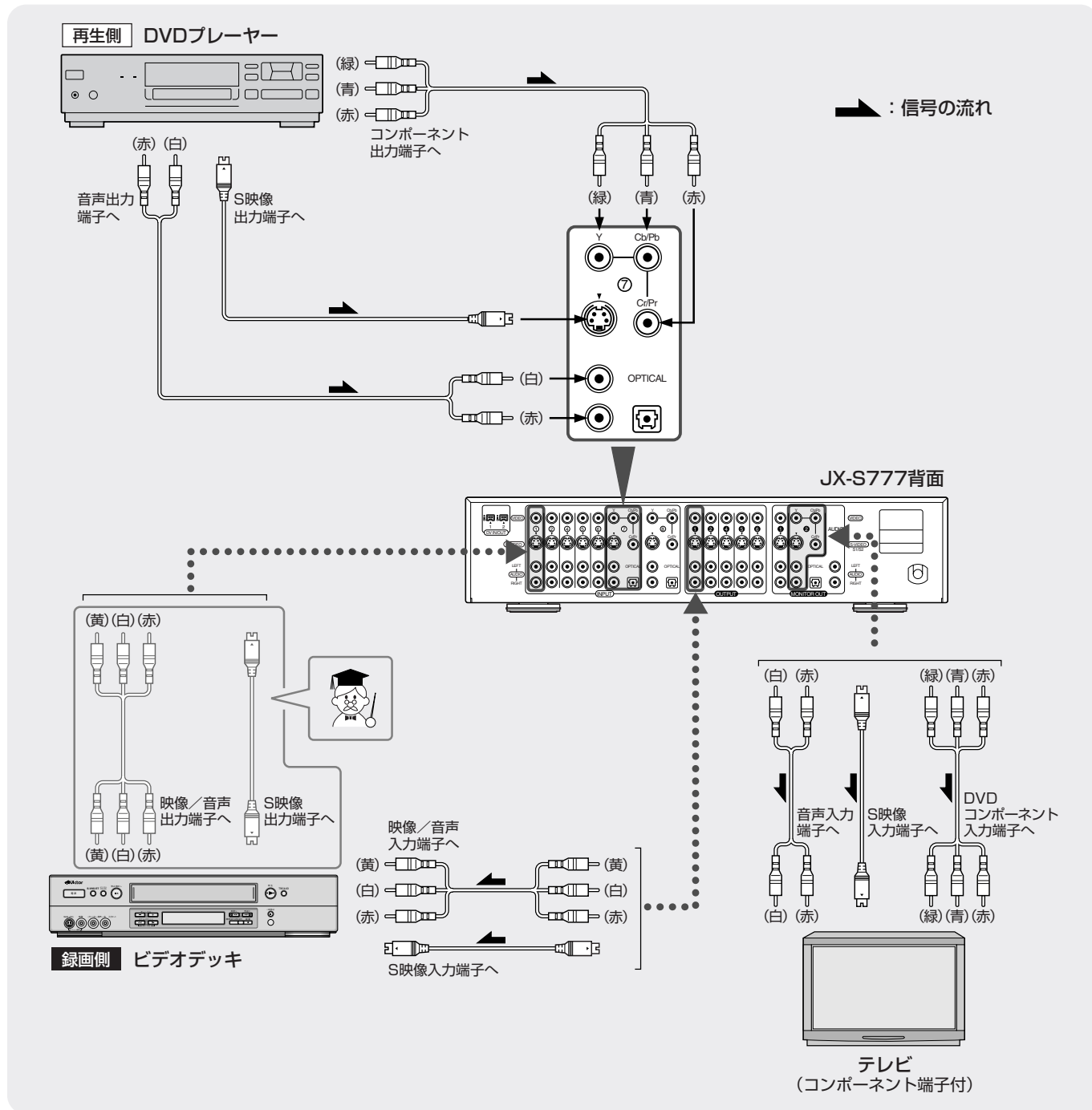
JX-S777背面

（黄）（白）（赤）
映像／音声
出力端子へ
S映像
出力端子へ
（黄）（白）（赤）

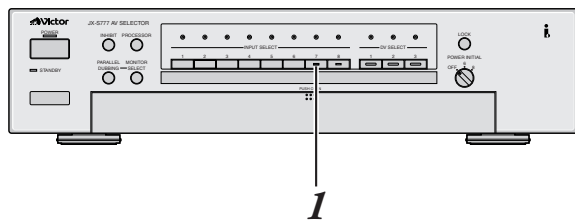
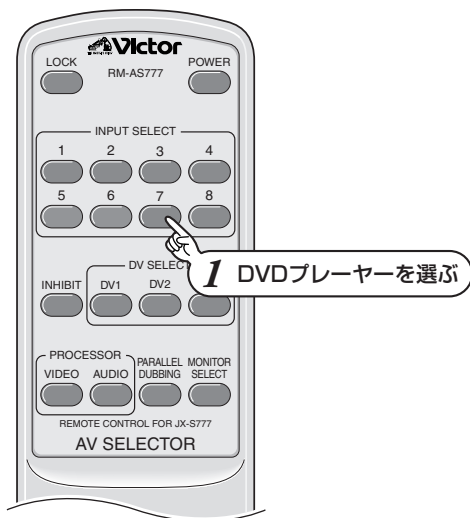
録画側 ビデオデッキ

映像／音声
入力端子へ
（黄）（白）（赤）
S映像入力端子へ

（白）（赤） 音声入力端子へ
S映像入力端子へ
（緑）（青）（赤） DVD コンポーネント入力端子へ

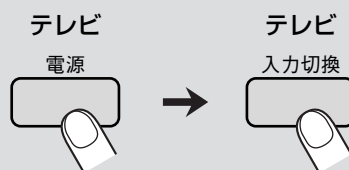
テレビ
（コンポーネント端子付）

- コンポーネント端子で接続する場合でも、S映像コードも併せて接続してください。S映像コードを接続しないとビデオデッキへのダビングができません。
  また、テレビで見るとき画面サイズの自動切換えが働かない場合があります。
- 入力端子7、8のコンポーネント入力からの映像は、モニター出力端子2のコンポーネント端子にのみ出力されます。
  ビデオ映像やS映像には変換されません。
- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

- ビデオデッキを再生用として使用できるように、JX-S777の入力端子と接続してお使いください。

・JX-S777の電源を入れます。
・DVDプレーヤーなどの電源を入れて、録画する準備をしておきます。

1 DVDプレーヤーを入力機器として設定する

- INPUT SELECTの“7”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 7のランプが点灯します。

2 テレビの電源を入れて、入力をコンポーネント入力に切換える

3 DVDプレーヤーを再生する

4 ビデオデッキの録画を開始する

ビデオデッキ

録 画

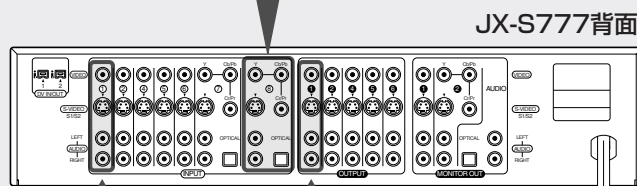
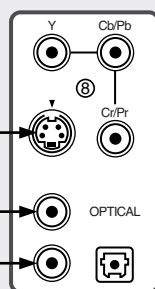
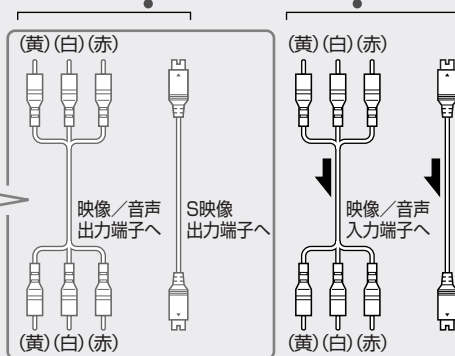
ご注意

- DVDのディスク（ソフト）によってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをビデオに録画するとコピーガードシステムにより正常に録画できません。
- あなたがビデオテープなどに録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルCSチューナーから留守録する

デジタル CS チューナー（入力端子８）から JX-S777 が AC 連動しているビデオデッキ（出力端子 1）に留守録してみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

デジタルCSチューナー

：信号の流れ

(白) (赤)
音声出力端子へ
S映像出力端子へ

Y　Cb/Pb　⑧　Cr/Pr　OPTICAL
(白)
(赤)

JX-S777背面

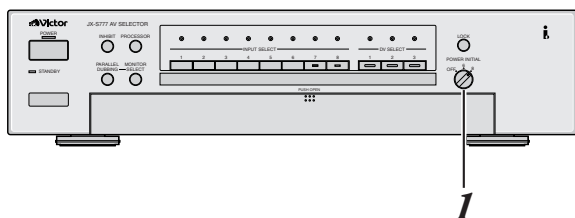
(黄)(白)(赤)　映像／音声出力端子へ　S映像出力端子へ　(黄)(白)(赤)

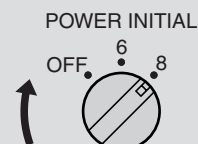
(黄)(白)(赤)　映像／音声入力端子へ　S映像入力端子へ　(黄)(白)(赤)

ACオンライン（タイマー連動コンセント）

録画側　ビデオデッキ

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

● ビデオデッキを再生用として使用できるように、JX-S777の入力端子と接続してお使いください。

1 JX-S777をタイマー動作させる

● POWER INITIAL スイッチ“8”に設定します。

2 ビデオデッキで録画予約の設定をする

ビデオデッキの電源がOFFになれば、JX-S777の電源もOFFになります。

3 デジタルCSチューナーで録画したい番組を設定する

POWER INITIAL について

● JX-S777のPOWER INITIALスイッチを使用して、ビデオデッキなどのAC連動コンセントと接続することで、タイマー動作させることができます。

POWER INITIALを使用して動作させた場合、次の様な状態で立ち上がります。

スイッチ設定	動作状態
OFF	電源スタンバイの状態
6	・INPUT SELECT 6 ON ・DV SELECT 1、2、3 ON ・INHIBIT ON ・LOCK ON
8	・INPUT SELECT 8 ON ・DV SELECT 1、2、3 ON ・INHIBIT ON ・LOCK ON

● POWER INITIALは、AC連動でOFFになったときのように、完全に電源が切れている状態から再度電源が入ったときに働きます。スタンバイ状態からPOWER ONしても働きません。

ラストモードメモリー機能について

● JX-S777をスタンバイ状態からPOWER ONしたときは、POWER OFFしたときの状態を保持し、その状態で立ち上がります。

DVDからMDコンポにデジタル録音する

DVDプレーヤー（入力端子７）から光デジタルコードで、MDコンポ（音声出力端子）にデジタル録音してみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　DVDプレーヤー

デジタル音声出力端子へ

：信号の流れ

（赤）（白）

音声出力端子へ

S映像出力端子へ

Y　Cb/Pb

⑦

Cr/Pr

（白）

OPTICAL

（赤）

JX-S777背面

S映像入力端子へ

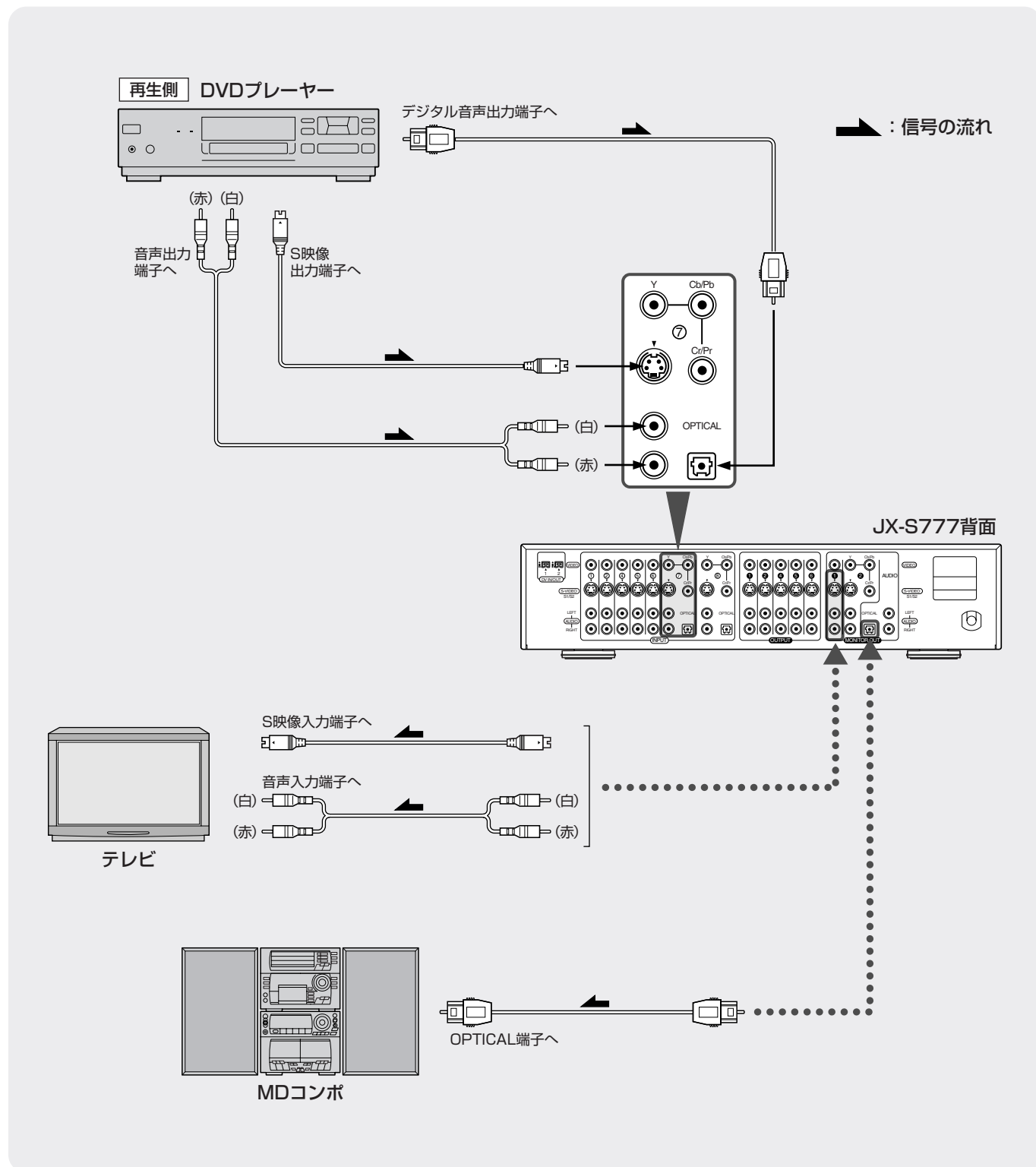
音声入力端子へ

（白）

（赤）

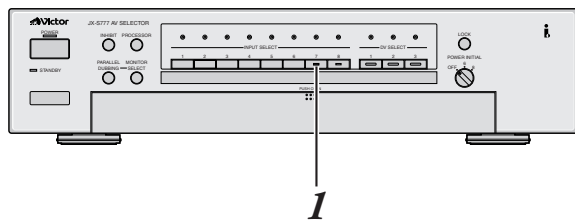
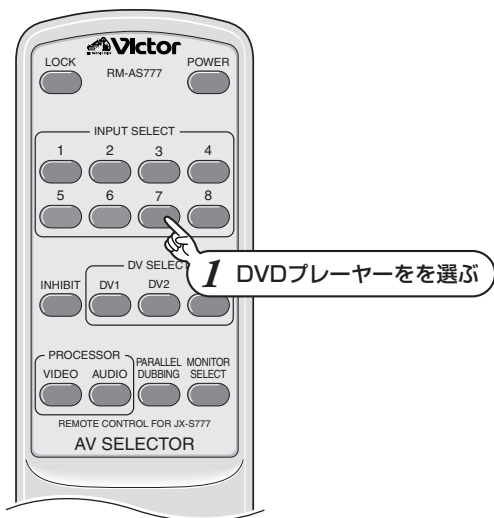
（白）

（赤）

テレビ

OPTICAL端子へ

MDコンポ

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- 入力端子7、8のOPTICAL入力からは、音声モニター出力のOPTICAL端子にのみ出力されます。アナログ音声には変換されません。

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・MD コンポなどの電源を入れて、デジタル録音する準備をしておきます。

1 DVDプレーヤーを入力機器として設定する

● INPUT SELECT の“7”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 7のランプが点灯します。

2 DVD プレーヤーを再生する

DVD

3 MD コンポの録音を開始する

MDコンポ

ご注意

● あなたが Mini Disk などに録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルビデオカメラからデジタルビデオデッキにダビングする

デジタルビデオカメラ（DV端子3）からデジタルビデオデッキ（DV端子1）にダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　デジタルビデオカメラ

：信号の流れ

S映像出力端子へ　AV出力端子へ　DV端子へ

（黄）（白）（赤）

JX-S777前面

映像／音声モニター出力端子1へ　（黄）（白）（赤）

映像／音声入力端子へ　（黄）（白）（赤）

S映像モニター出力端子1へ　S映像入力端子へ

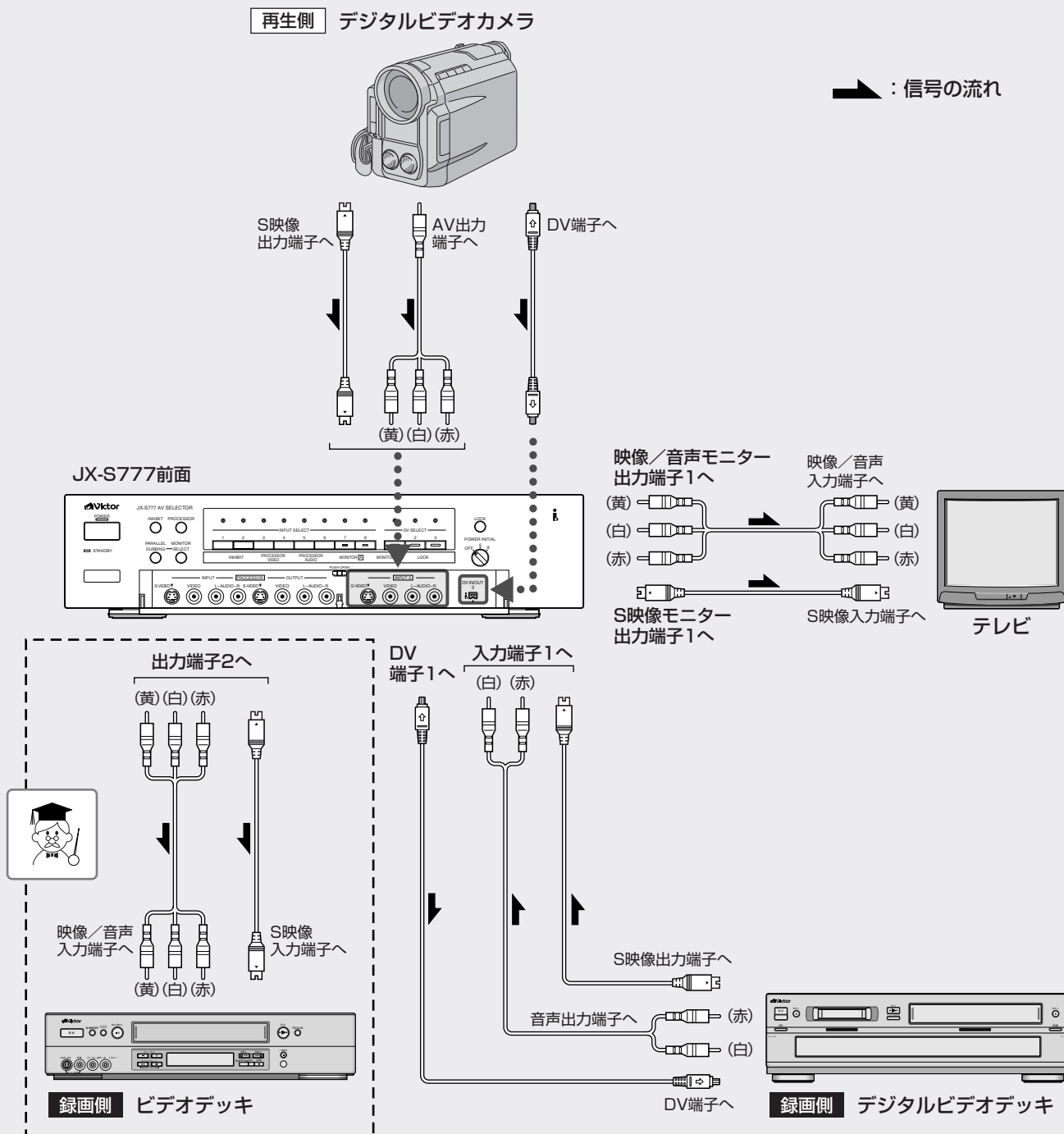
テレビ

出力端子2へ　（黄）（白）（赤）

映像／音声入力端子へ　（黄）（白）（赤）　S映像入力端子へ

録画側　ビデオデッキ

DV端子1へ　入力端子1へ　（白）（赤）

S映像出力端子へ　音声出力端子へ　（赤）（白）　DV端子へ

録画側　デジタルビデオデッキ

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- DV信号は、JX-S777ではアナログに変換されません。DV機器の信号をテレビで見るには、映像／音声ケーブルをつないでください。

- デジタルビデオカメラからデジタルビデオデッキにデジタル録画すると同時に、S-VHS/VHSビデオデッキに録画することもできます。JX-S777とビデオデッキを映像／音声ケーブルまたはS映像ケーブル、音声ケーブルでつないでください。

・JX-S777の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・デジタルビデオカメラなどの電源を入れて、ダビングする準備をしておきます。

1 使用するDV機器を選ぶ

● DV SELECTの“DV1”、“DV3”ボタンを押します。

JX-S777のDV SELECT 1と3のランプが点灯します。
（すでにJX-S777のDV SELECT 1と3のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。DV2のランプが点灯しているときは、DV SELECTのDV2ボタンを押し、DV2のランプを消してください。）

2 テレビで見る映像を選ぶ

● INPUT SELECTの“3”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 3のランプが点灯します。

3 デジタルビデオカメラを再生する

デジタルビデオカメラ

4 デジタルビデオデッキの録画を開始する

デジタルビデオデッキ

ご注意

● ダビングするときは、録画用デジタルビデオデッキの入力切換えスイッチなどを必ず外部入力モード（AUXなど）にしてください。

● デジタルダビング中でもINPUT SELECTは切換えられます。デジタルビデオデッキの映像をモニターしたいときは、INPUT SELECTを“1”に切換えてください。
● ダビング中などに他のDV機器がONになると、誤作動をおこす場合がありますので、使用しないDV SELECTは、必ずOFFにしてください。

D-VHSビデオデッキからD-VHSビデオデッキにダビングする

D-VHS ビデオデッキ 1（DV 端子 1）から D-VHS ビデオデッキ 2（DV 端子 2）にデジタルダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　D-VHSビデオデッキ1

録画側　D-VHSビデオデッキ2

：信号の流れ

(黄) (白) (赤)

i.LINK端子へ　映像／音声出力端子へ　S映像出力端子へ

JX-S777背面

テレビ

映像／音声入力端子へ

(赤) (白) (黄)

S映像入力端子へ

入力端子4へ　(白) (赤)

DV端子3へ

デジタルCSチューナーを接続しないとモニターできないD-VHSビデオデッキの場合

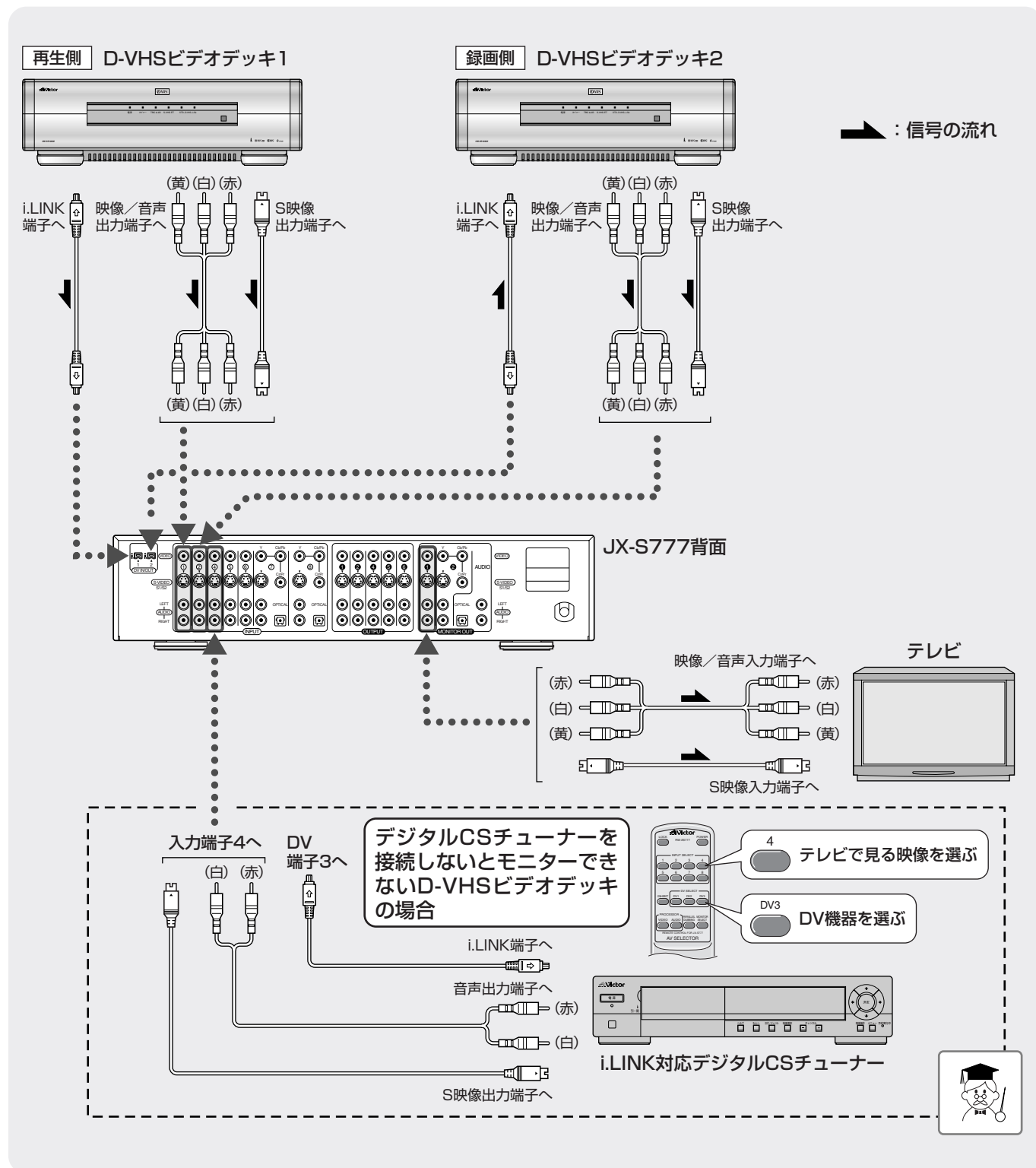
4　テレビで見る映像を選ぶ

DV3　DV機器を選ぶ

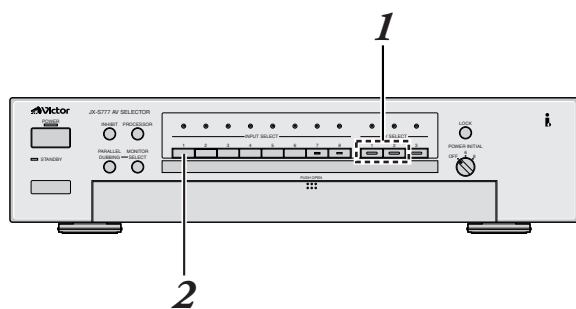
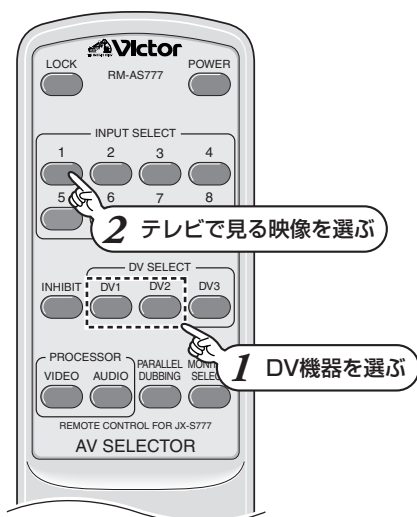
i.LINK端子へ

音声出力端子へ (赤) (白)

S映像出力端子へ

i.LINK対応デジタルCSチューナー

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

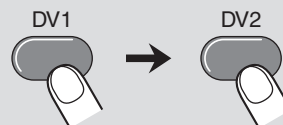
● 一部のD-VHSビデオデッキでは、i.LINK対応のデジタルCSチューナーを接続しないと、モニター出力の映像を見ることができません。
映像を見る場合には、DV SELECTのDV3ボタンを押し、INPUT SELECT4に切換えてください。
また、デジタルダビングする際には、i.LINK対応デジタルCSチューナーの電源をOFFにしてください。（ただし、ダビング中の映像を見ることはできません。詳しくは、D-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

・JX-S777の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・D-VHSビデオデッキなどの電源を入れて、デジタルダビングする準備をしておきます。

● D-VHSビデオデッキ2のメニュー表示や映像をモニターしたいときは、INPUT SELECTを“2”に切換えてください。
● ダビング中などに他のDV機器がONになると、誤作動をおこす場合がありますので、使用しないDV SELECTは、必ずOFFにしてください。

ご注意

● DTLA (The Digital Trans-mission Licensing Administrator) のコピー・プロテクション対応のD-VHSをご使用の場合、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。
(デジタルCS放送からの録画が1回目のコピーにあたります。)
詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

1 使用するDV機器を選ぶ

● DV SELECTの“DV1”、“DV2”ボタンを押します。

JX-S777のDV SELECT 1と2のランプが点灯します。
(すでにJX-S777のDV SELECT 1と2のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。ランプが消えている場合にボタンを押して、DV SELECT 1と2のランプを点灯させてください。)

2 テレビで見る映像を選ぶ

● INPUT SELECTの“1”ボタンを押します。

(すでにJX-S777のINPUT SELECT 1のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。)

3 D-VHSビデオデッキ1を再生する

D-VHSビデオデッキ1

4 D-VHSビデオデッキ2の入力を切換え、録画を開始する

D-VHSビデオデッキ2

パソコンに画像を取り込む

パソコン（DV 端子 1）にデジタルビデオカメラ（DV 端子 3）の映像を取り込んでみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

：信号の流れ

DV端子へ

パソコン
（DVキャプチャーボード搭載）

DV端子1へ

映像／音声モニター
出力端子1へ

映像／音声
入力端子へ

(黄)
(白)
(赤)

(黄)
(白)
(赤)

S映像モニター
出力端子1へ

S映像
入力端子へ

テレビ

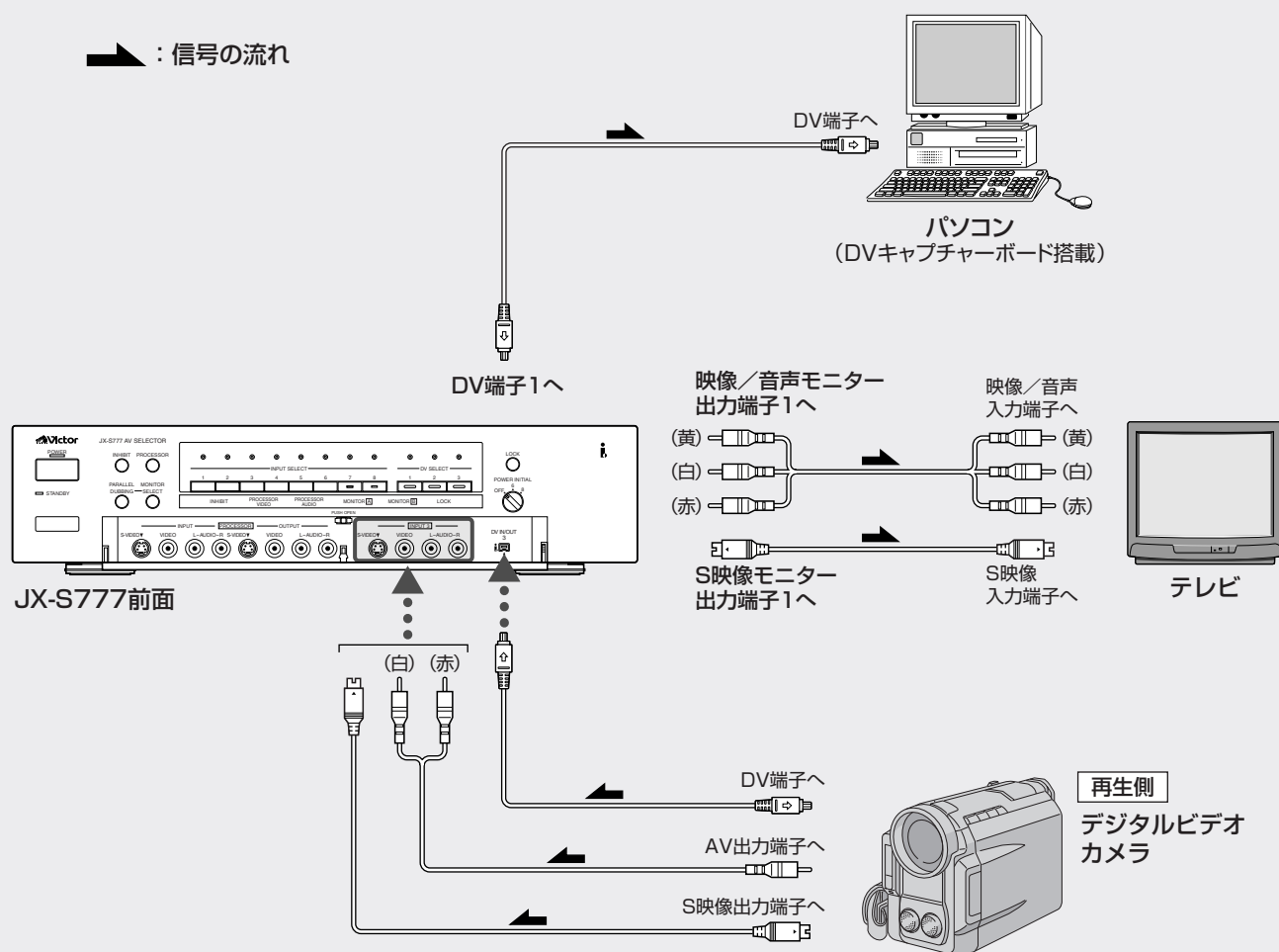
JX-S777前面

(白) (赤)

DV端子へ

AV出力端子へ

S映像出力端子へ

再生側

デジタルビデオ
カメラ

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- DV 端子がなく S 映像端子または映像端子と音声端子を持つパソコンの場合には、JX-S777 の出力端子とパソコンを S 映像コード、音声コードまたは映像／音声コードでつないでください。

・JX-S777 の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777 のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・パソコンなどの電源を入れて、画像を取り込む準備をしておきます。

1 使用する DV 機器を選ぶ

● DV SELECTの“DV1”、“DV3”ボタンを押します。

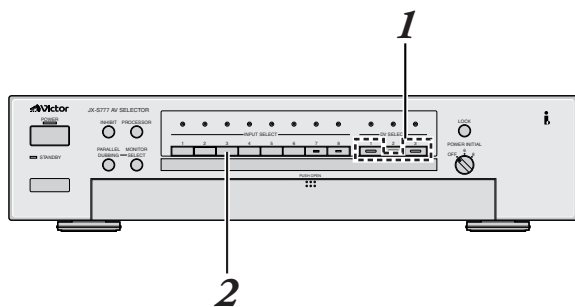
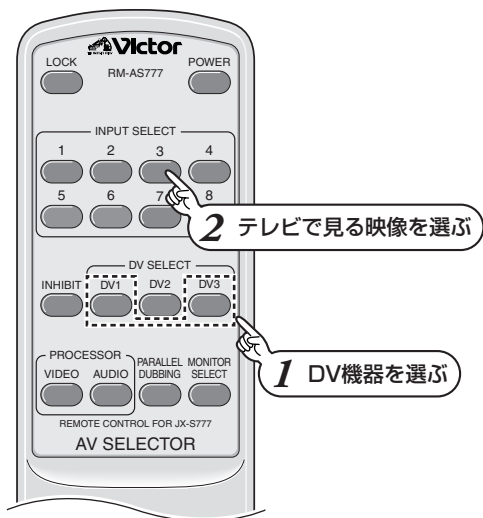
JX-S777 の DV SELECT 1 と 3 のランプが点灯します。
（すでにJX-S777のDV SELECT 1と3のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。ランプが消えている場合にボタンを押して、DV SELECT 1 と 3 のランプを点灯させてください。）

2 テレビで見る映像を選ぶ

● INPUT SELECTの“3”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 3のランプが点灯します。

3 デジタルビデオカメラを再生し、パソコンに画像を取り込む

デジタルビデオカメラ　　マウス

● DV端子2にデジタルビデオデッキを接続することにより、デジタルビデオデッキの画像もパソコンに取り込むことができます。（デジタルビデオデッキの画像を取り込むときは、DV SELECTにて DV2 を ON にし、DV3 を OFF にしてください。）

プロセッサーを使ってダビングする

ビデオデッキ１（入力端子１）の映像にビデオタイトラー（プロセッサー入出力端子）にてタイトルを入れ、ビデオデッキ２（出力端子２）にダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

再生側　ビデオデッキ1

再生映像

録画側　ビデオデッキ2

録画映像

運動会

(黄) (白) (赤)

映像／音声
出力端子へ

S映像
出力端子へ

(黄) (白) (赤)

映像／音声
入力端子へ

S映像
入力端子へ

(黄) (白) (赤)

映像／音声
出力端子へ

S映像
出力端子へ

(黄) (白) (赤)

映像／音声
入力端子へ

S映像
入力端子へ

入力端子2へ

出力端子2へ

入力端子1へ

出力端子1へ

モニター
出力端子1へ

映像／音声
出力端子へ

映像／音声
入力端子へ

(黄) (白) (赤)

S映像
出力端子へ

S映像
入力端子へ

テレビ

運動会

JX-S777前面

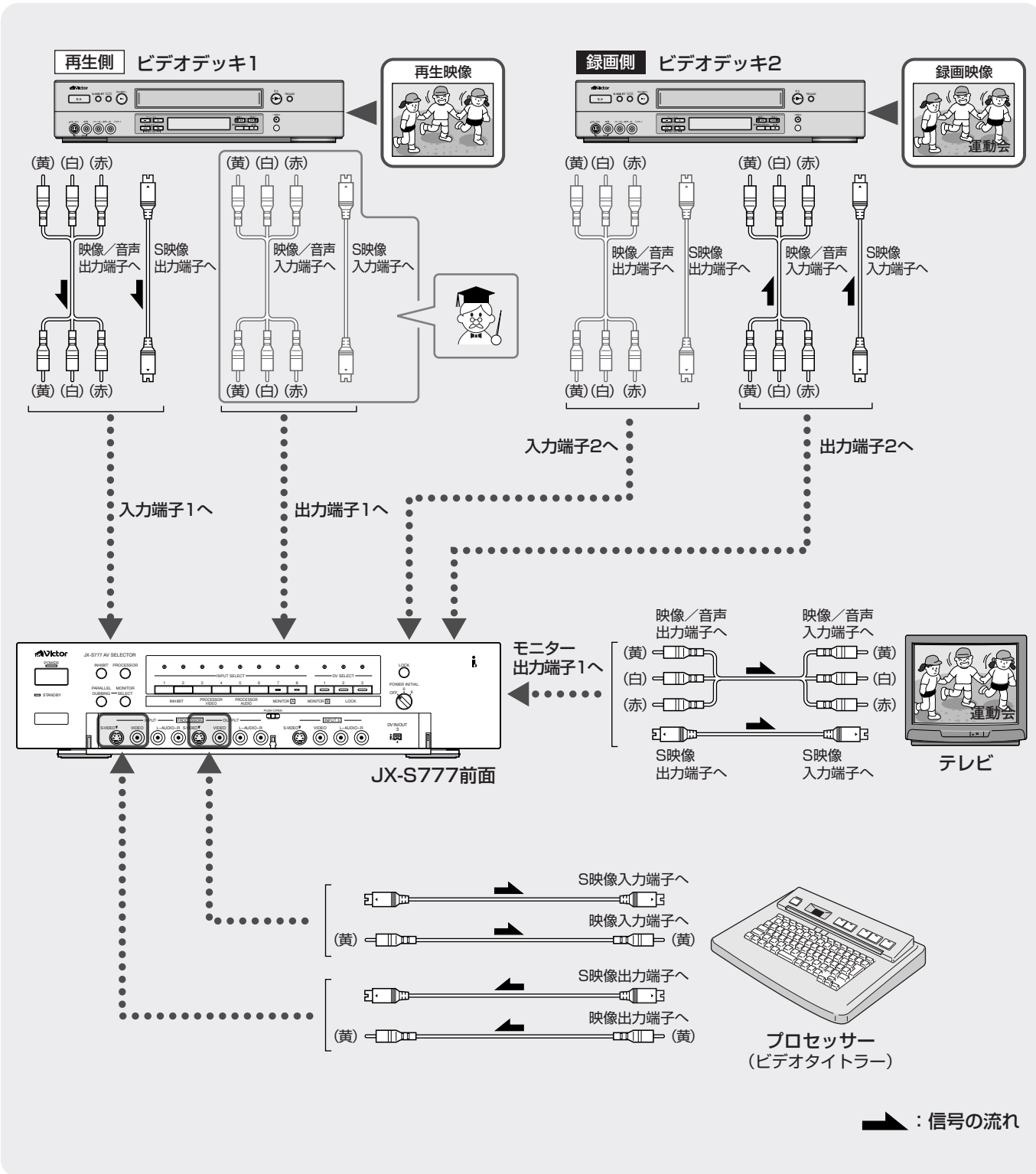
S映像入力端子へ

(黄) 映像入力端子へ (黄)

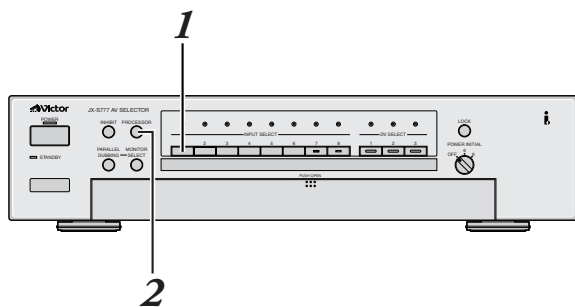
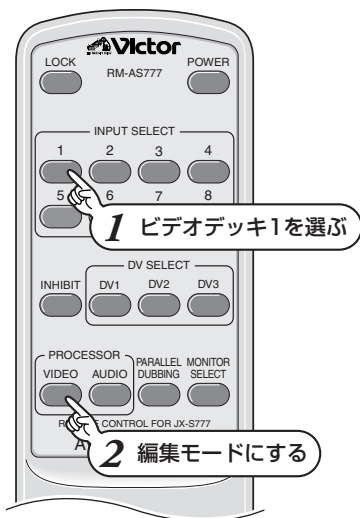
S映像出力端子へ

(黄) 映像出力端子へ (黄)

プロセッサー
（ビデオタイトラー）

：信号の流れ

- 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。
- “プロセッサー接続についての注意” については、**38** ページをご覧ください。

- ビデオデッキ１を録画用として使用できるように、JX-S777の出力端子と接続してお使いください。
（ビデオデッキ２はJX-S777の入力端子と接続してください。）

・JX-S777の電源を入れます。
・テレビの電源を入れて、JX-S777のモニター出力端子と接続された入力を選びます。
・ビデオタイトラーなどの電源を入れて、編集、ダビングする準備をしておきます。

1 ビデオデッキ1を入力機器として設定する

● INPUT SELECTの"1"ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 1のランプが点灯します。

2 編集モードにする

● PROCESSORの"VIDEO"ボタンを押します。

JX-S777の表示窓に"PROCESSOR VIDEO"の表示が点灯します。

3 ビデオデッキ 1 を再生する

ビデオデッキ1

4 ビデオタイトラーにてタイトルを入れる

5 ビデオデッキ２にて録画を開始する

ビデオデッキ2

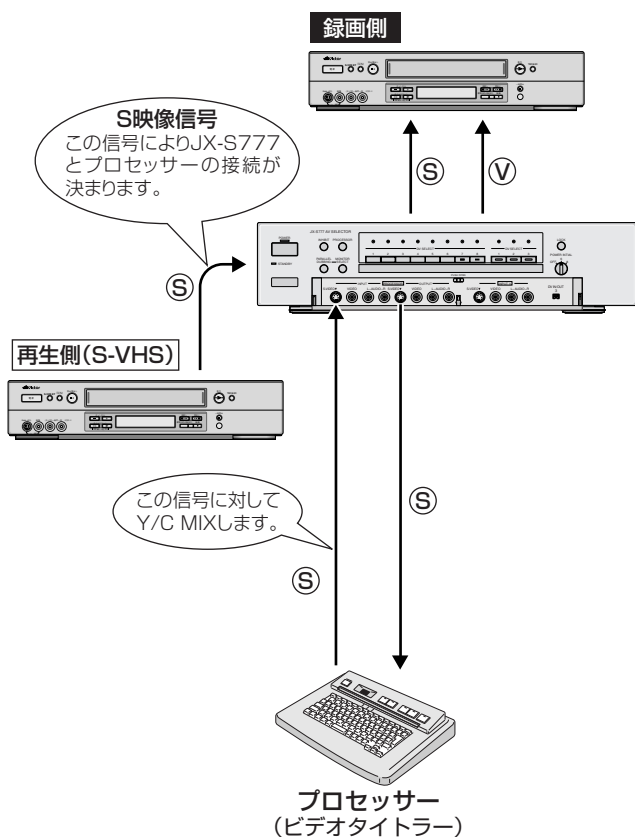
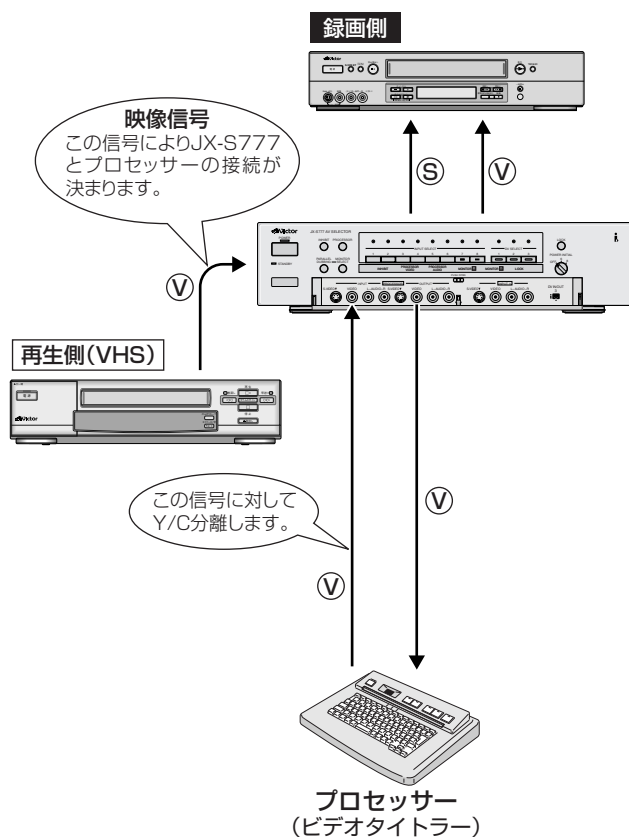
応用操作

ご注意

● INHIBITはON状態にしてお使いください。(☞**45**ページ)

プロセッサー接続についての注意

JX-S777の“プロセッサー出力端子”には、Y/C分離やY/C MIX回路はありませんので、以下に示す信号の流れにしたがって接続してください。

■ 再生用ビデオデッキがS映像信号の場合

■ 再生用ビデオデッキが映像信号の場合

Ⓢ：S映像信号
Ⓥ：映像信号

再生ビデオデッキが上記のどちらの場合でも対応できるようにプロセッサーとJX-S777との接続は、S映像コードと映像コードの両方を接続すると便利です。

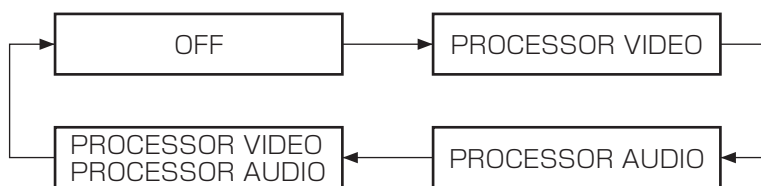
S映像端子のないビデオデッキとS映像端子のあるプロセッサー接続時の注意

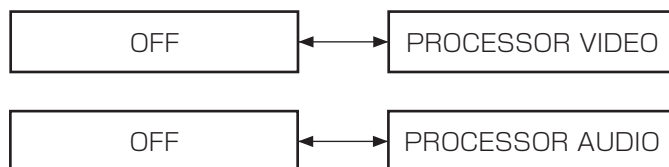
■ S映像／映像の切換えスイッチのあるプロセッサーの場合には、スイッチを“映像”側にしてください。

■ S映像／映像の切換えスイッチがなく、入力が1系統のプロセッサーの場合
- S映像端子に接続されていると、S映像信号が優先されます。
- S映像端子のないビデオデッキから信号を入力するときは、S映像コードをプロセッサーのS映像入力端子から抜いてください。

■ S映像／映像の切換えスイッチがなく、入力が2系統のプロセッサーの場合には、一方の入力端子にS映像コードを、他方に映像コードを接続し、プロセッサーの入力切換えで映像コードが接続されている入力を選んでください。

本体操作とリモコン操作の違いについて

“本体操作”ではPROCESSORボタンを押すごとに

となります。

“リモコン操作”では“PROCESSOR VIDEO”と“PROCESSOR AUDIO”を別々に操作します。

となります。

ホームシアター

DVDソフトをシアター的に見ながら、デジタルビデオカメラの映像／音声を複数のビデオデッキにダビングしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

スピーカー

スクリーン

スピーカー

スピーカー

スピーカー

スピーカー

プロジェクター

S-VHSビデオデッキ

モニター出力1の
S映像端子、音声
端子より

AVアンプ

S-VHSビデオデッキ

オーディオ出力のOPTICAL
端子、音声端子より

出力2のS映像端子、
音声端子より

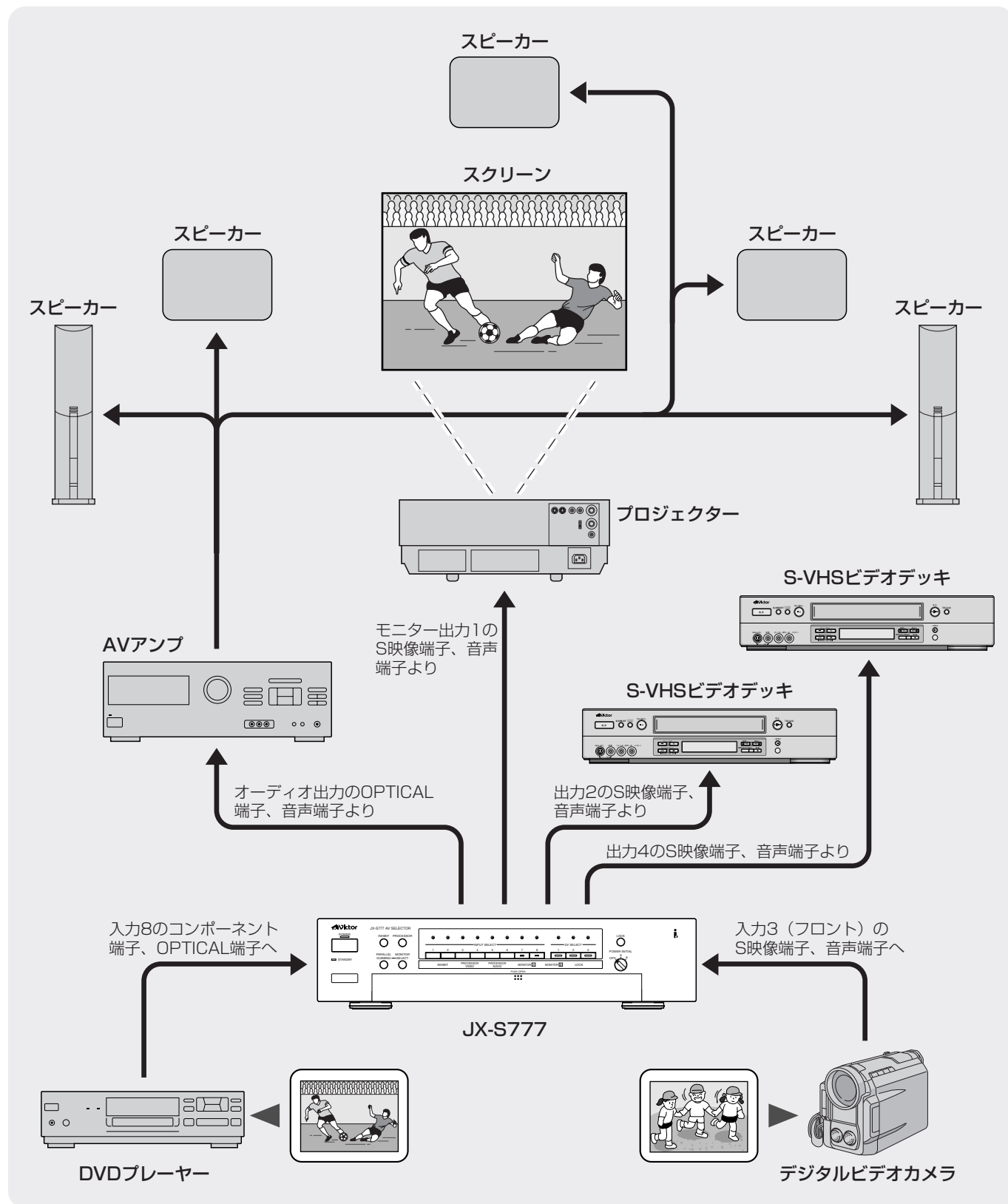
出力4のS映像端子、音声端子より

入力8のコンポーネント
端子、OPTICAL端子へ

入力3（フロント）の
S映像端子、音声端子へ

JX-S777

DVDプレーヤー

デジタルビデオカメラ

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

● DVDプレーヤーとAVアンプに5.1chアナログ音声入出力しかない場合には、JX-S777を通さずに直接つないでください。

・JX-S777の電源を入れます。
・使用する機器の電源を入れて、入力を切換えるなどの準備をしておきます。

1 パラレルダビングモードにする

● “PARALLEL DUBBING”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 8のランプと表示窓にMONITOR Aの表示が点灯します。
（初めにINPUT SELECT 1が選ばれていれば、INPUT SELECT 1のランプも点灯します。）

2 デジタルビデオカメラを入力機器として設定する

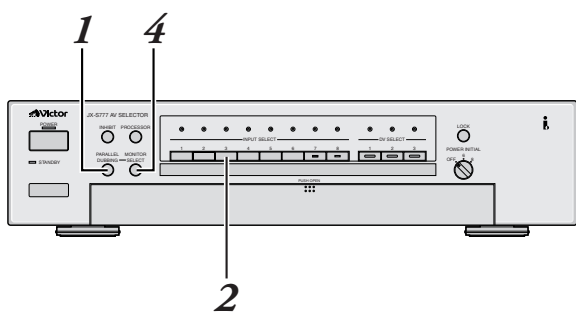
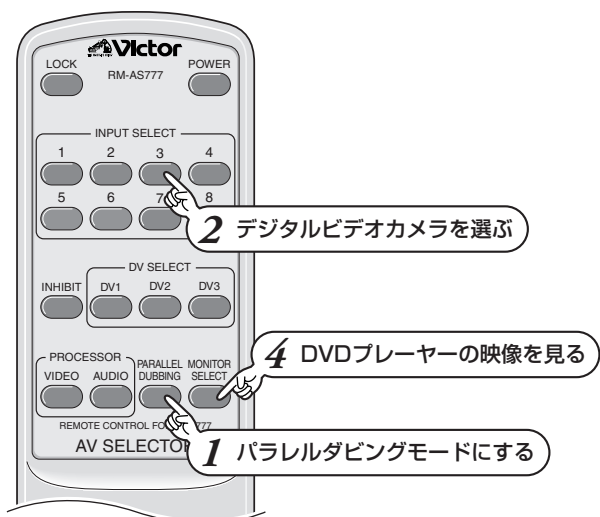
● INPUT SELECTの“3”ボタンを押します。

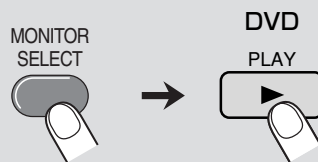
JX-S777のINPUT SELECT 3のランプが点灯します。

3 デジタルビデオカメラを再生し、ビデオデッキで録画する

4 スクリーンの映像を切換えてDVDプレーヤーの映像を見る

● “MONITOR SELECT”ボタンを押します。

JX-S777の表示窓にMOINTOR Bの表示が点灯します。

● ダビング中であっても“MONITOR SELECT”ボタンを押すことにより、DVDプレーヤー（MONITOR B）とDVC（MONITOR A）の映像を切換えてスクリーンで見ることができます。
● “LOCK”ボタンを押すと誤った操作が防止ができ、とても便利です。（☞**47**ページ）
● PARALLEL DUBBINGの詳細については**46**ページをご覧ください。

応用操作

パソコンに取り込んだ画像を編集し、プリントする

デジタルビデオカメラの映像をパソコンに取り込み編集し、プリントしてみましょう

接続は一例を示したものです。接続および操作のしかたは、ご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

パソコン
（DVキャプチャーボード搭載）

デジタルビデオプリンター

DV端子1へ

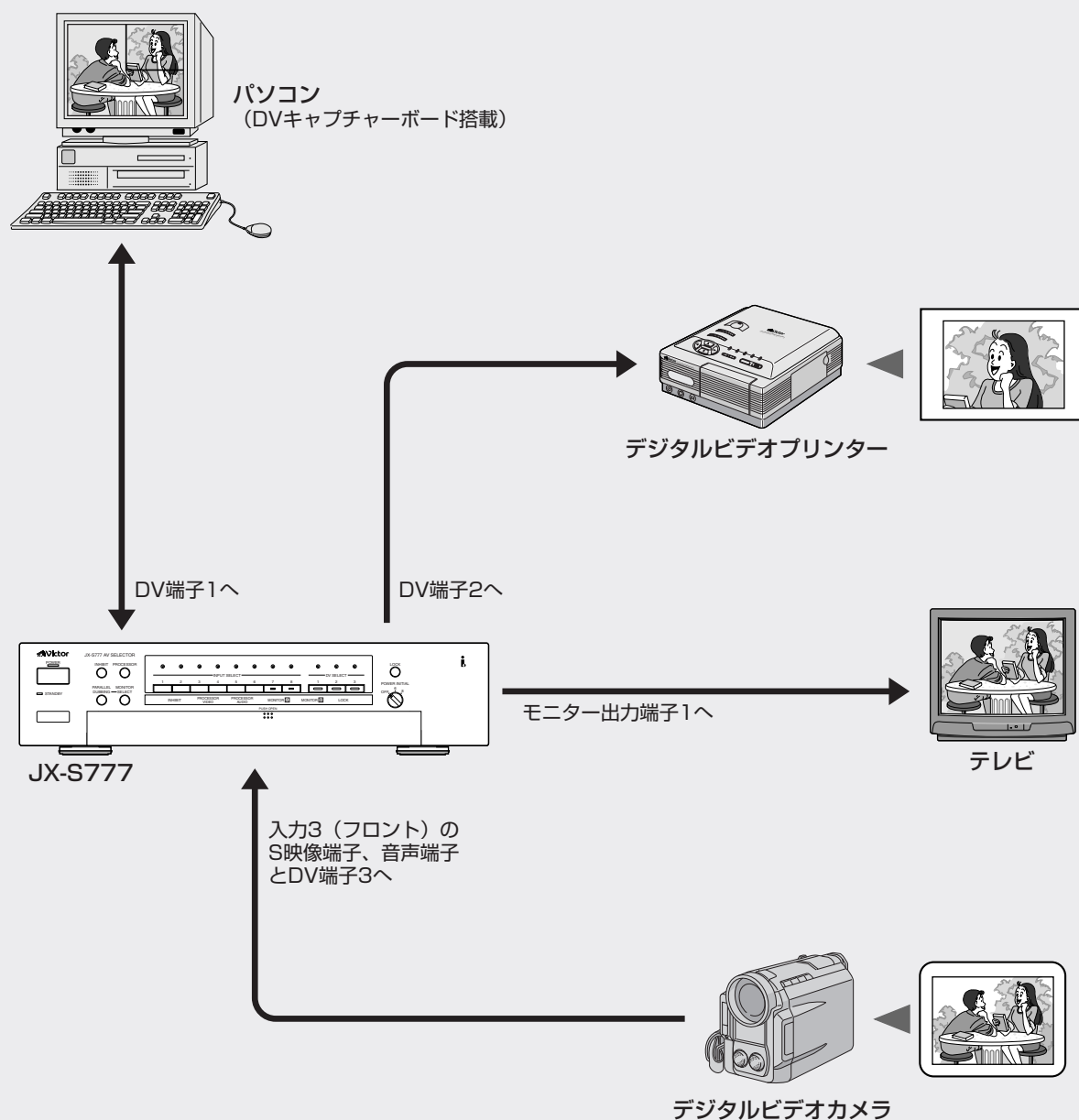
DV端子2へ

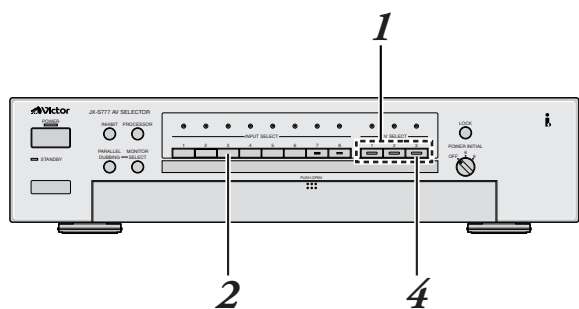
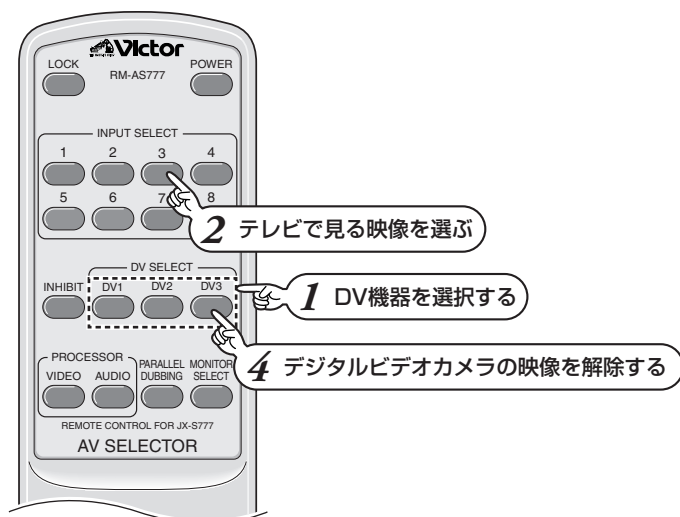
JX-S777

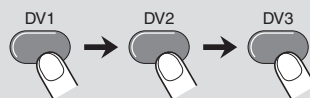
モニター出力端子1へ

テレビ

入力3（フロント）の
S映像端子、音声端子
とDV端子3へ

デジタルビデオカメラ

● 接続は、各機器の電源を切ってから行ってください。

・JX-S777の電源を入れます。
・パソコンなどの電源を入れて、画像を取り込む準備をしておきます。

1 使用するDV機器を選択する

● DV SELECTの“DV1”、“DV2”、“DV3”ボタンを押します。

JX-S777のDV SELECT 1～3のランプが点灯します。
（すでにJX-S777のDV SELECT 1～3のランプが点灯しているときは、ボタンを押す必要はありません。）

2 テレビで見る映像を選ぶ

● INPUT SELECTの“3”ボタンを押します。

JX-S777のINPUT SELECT 3のランプが点灯します。

3 デジタルビデオカメラを再生し、パソコンで画像を取り込む

4 デジタルビデオカメラの映像を解除する

● DV SELECTの“DV3”ボタンを押し、デジタルビデオカメラの入力を解除します。
（パソコンから出力する画像データとデジタルビデオカメラからの画像データが混在しないようにします。）

5 パソコンで編集した画像をプリントする

応用操作

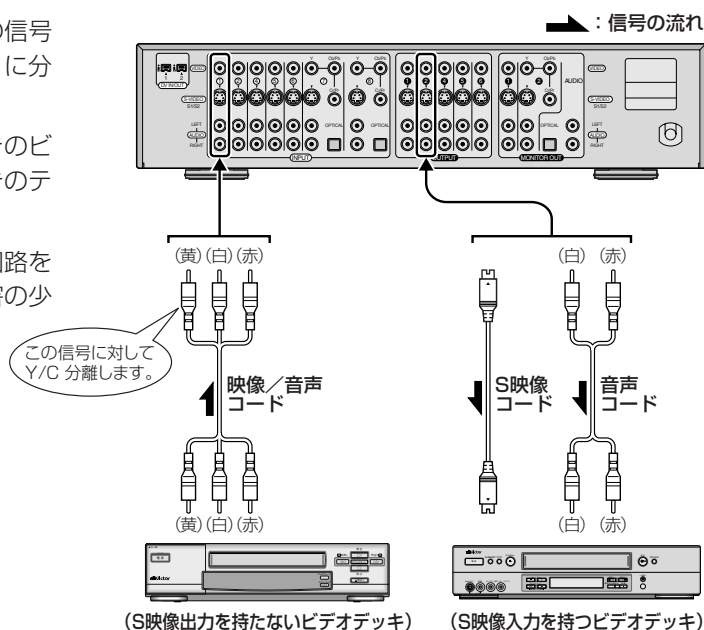
S映像入出力端子について

- S映像入出力端子は、映像信号のY/C（輝度信号／色信号）のセパレート信号の端子です。
- S映像端子付きビデオデッキの録画再生時に接続し､映像信号のロスをおさえ､よりきれいな録画再生ができます。
- S映像端子のないビデオデッキは映像端子に接続します。映像端子は、Y/C（輝度信号／色信号）の合成信号（コンポジット信号）の端子です。

Y/C分離について

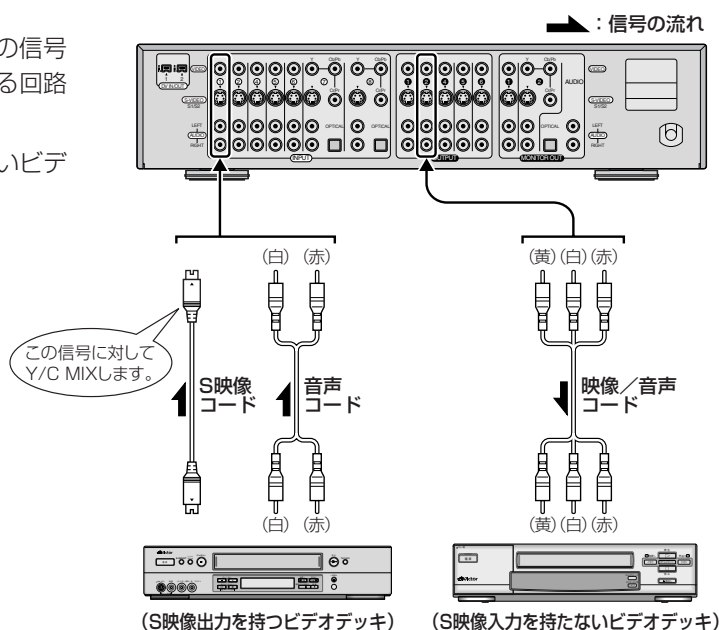
- JX-S777の出力端子には、ビデオ入力端子からの信号（コンポジット信号）を、Y/C（輝度信号／色信号）に分離する回路を内蔵しています。

  S映像端子のないビデオデッキからS映像端子付きのビデオデッキへダビングをする場合やS映像端子付きのテレビを使って見るときに便利です。

  また、JX-S777では3ラインデジタルY/C分離回路を搭載しており、コンポジット映像信号をドット妨害の少ない高画質なS映像信号へ変換します。

Y/C分離の例

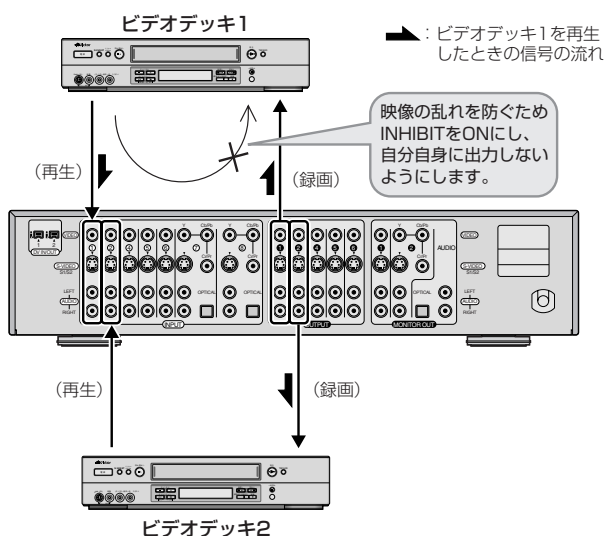
Y/C MIX（ミックス）について

- JX-S777の出力端子には、S映像入力端子からの信号（セパレート信号）を、コンポジット信号に合成する回路を内蔵しています。

  S映像端子付きビデオデッキからS映像端子のないビデオデッキへのダビングをする場合に便利です。

Y/C MIXの例

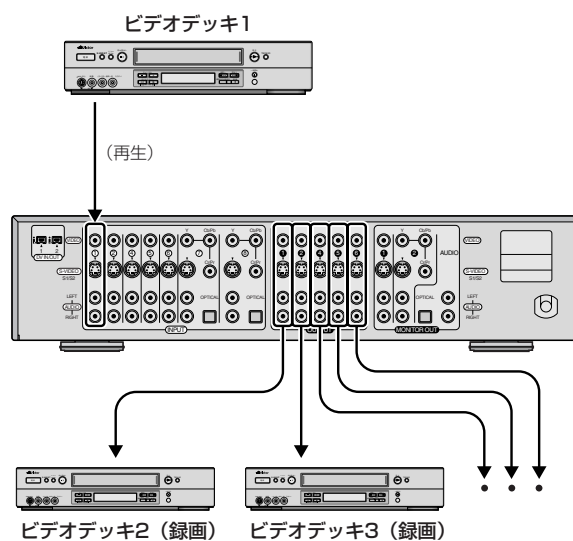
INHIBIT について

INHIBITのON/OFFは、入力端子と同じ番号の出力端子に出力信号（映像／音声）を出すか否かを設定する機能です。通常はON状態でご使用ください。

■ INHIBIT ON（出力しない）［INHIBITランプ点灯］

マルチダビングなどビデオデッキ1、2どちらも録画／再生用として使用する場合、JX-S777の入出力端子1をビデオデッキ1に、入出力端子2をビデオデッキ2に接続します。

ビデオデッキ1を再生すると、ビデオデッキ2にビデオデッキ1の映像／音声信号が出力されますが、ビデオデッキ1にも出力されます。（JX-S777の出力端子1とビデオデッキ1の入力端子が接続されているため）

この場合、ビデオデッキ1の映像が乱れ正常にダビングできなくなります。映像の乱れを防止するためINHIBITをONにし、出力端子1に信号を出力しないようにします。

■ INHIBIT OFF（出力する）［INHIBITランプ消灯］

ビデオデッキ1から5台のビデオデッキにダビングする場合、

JX-S777の入出力端子1とビデオデッキ1の入出力端子が接続されていると、出力端子が1つ足りなくなります。

出力端子を1つ拡張したいときにINHIBITをOFFにし、JX-S777の出力端子1に録画用ビデオデッキを接続します。

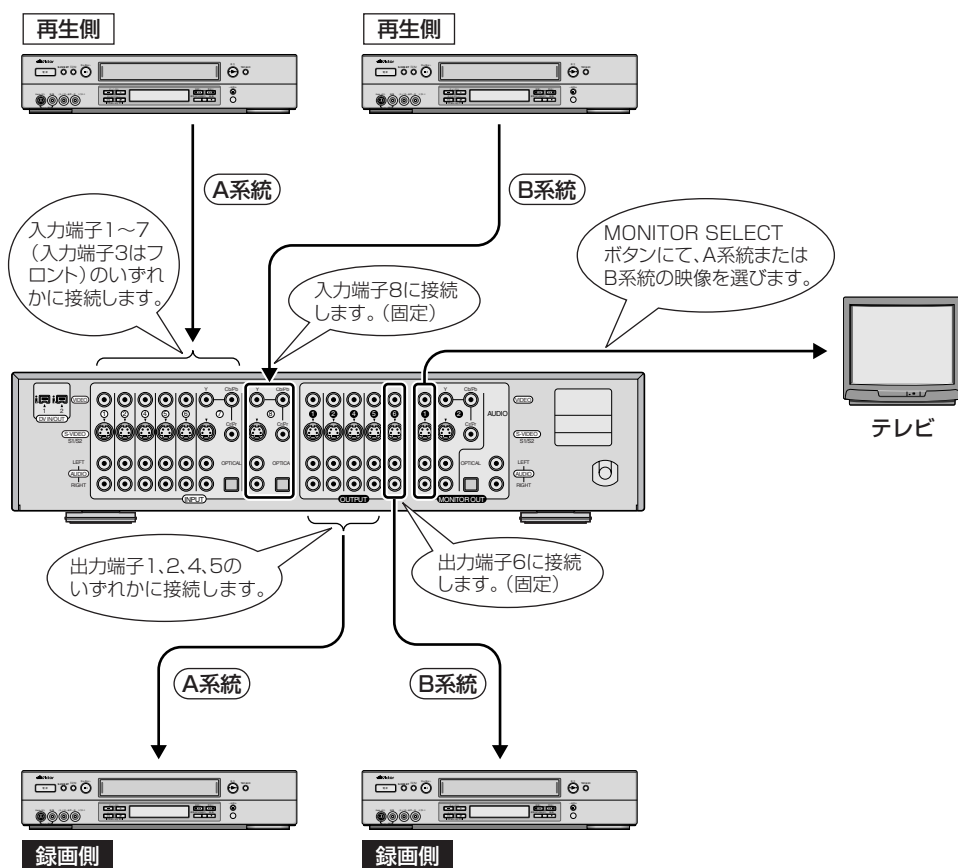
INHIBITをOFFにすると、全出力端子に同じ信号を出力します。

PARALLEL DUBBINGについて

PARALLEL DUBBING機能は“2種類のソフトを同時にダビングする”または“録画しながら他のソフトを見る”ときなどに使います。
PARALLEL DUBBINGをONにした場合、それぞれ独立した2つの信号系統ができます。JX-S777ではこの2つの系統を“A系統”、“B系統”と呼んでいます。

PARALLEL DUBBINGをONにするとA系統、B系統として使える端子が次の様な組合せとなります。

また、PARALLEL DUBBINGをONにした場合、MONITOR SELECTボタンにてA系統、B系統の映像を切換えてテレビで見ることができます。
A系統を選んだ場合には、JX-S777の表示窓に“MONITOR [A]”の表示が点灯します。
（B系統の場合には、“MONITOR [B]”の表示が点灯します。）

	A系統	B系統
入力	入力端子 1〜7	入力端子 8
出力	出力端子 1、2、4、5	出力端子 6

- PARALLEL DUBBINGをONにしたとき、“INPUT SELECT”、“PROCESSOR”、“INHIBIT”ボタンはA系統に対して有効となります。

LOCK（ロック）機能について

● 録画用ビデオデッキなどが動作中のとき、“LOCK”ボタンを押すと“MONITOR SELECT”ボタンと“LOCK”ボタン以外のボタン操作を無効にします。

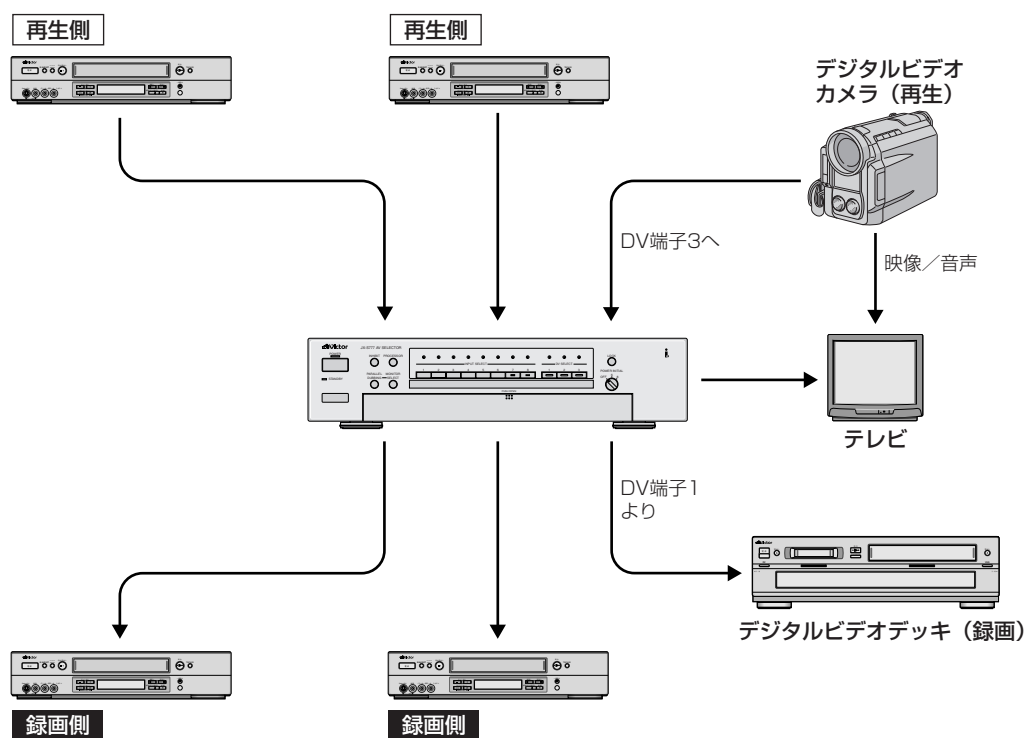
ダビング中に誤ってボタンを操作しても入力の系統などが変わらず、誤操作防止ができます。

● ロック状態になると、表示窓に“LOCK”の表示が点灯します。

● ロック状態からモードを変えるときは“LOCK”ボタンを押し、ロック状態を解除してください。

DV 端子について

● DV 端子は、通常の入出力端子（入力1～8、出力1、2、4～6）とは別系統になっています。

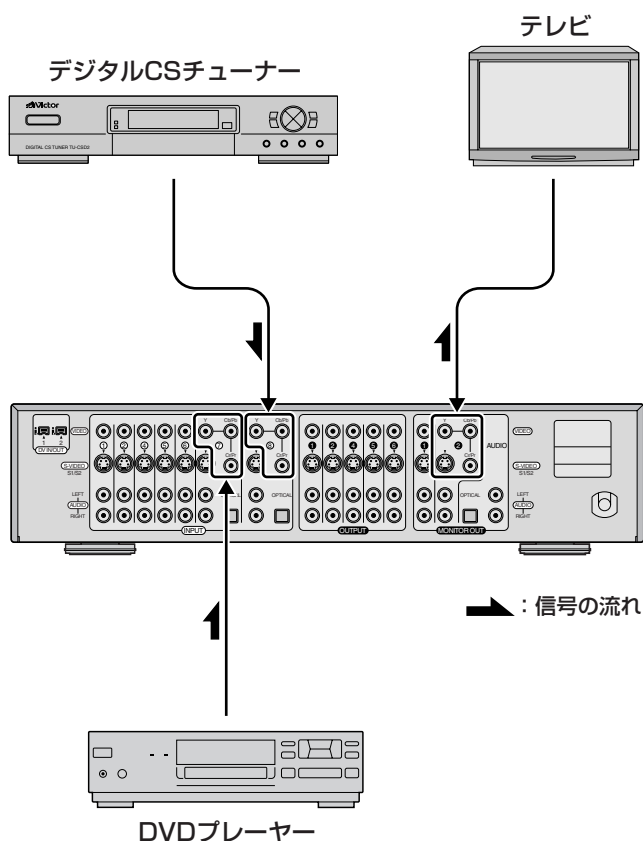
ビデオデッキをパラレルダビングしながら各 DV 機器間でダビングすることができます。

ご注意

● 各 DV 機器間のダビングについては、接続する機器の特性や仕様に注意してください。
D-VHS ビデオデッキやデジタル CS チューナーに搭載されているi.LINK端子と、デジタルビデオカメラやデジタルビデオデッキに搭載されているDV端子とは扱うケーブルや端子形状は同じですが、デジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることやダビングすることはできません。
（D-VHS は MPEG2 圧縮信号、DV 端子は DV 圧縮信号）

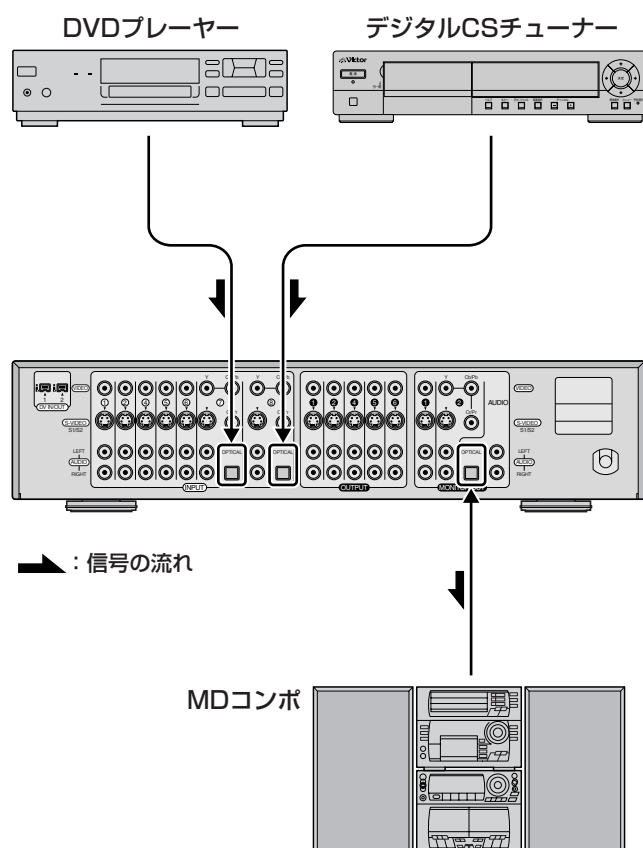
コンポーネント端子について

● JX-S777 を通して、DVD プレーヤーやデジタル CS チューナー（コンポーネント出力端子付き）とテレビ（コンポーネント入力端子付き）をつなぐ場合には、コンポーネント接続をお勧めします。

DVDのディスクにはビデオデッキなどで使われているコンポジット信号やＳ映像信号に比べて、より元の信号に忠実な色彩が再現できるコンポーネントビデオ（Y色差）信号形式で記録されています。

コンポーネント接続では、DVDのディスクに記録されている信号をそのままテレビに出力しますので、DVDの持つ美しい映像を再現することができます。

OPTICAL（オプティカル）端子について

● JX-S777 のオプティカル端子を通して、DVD プレーヤーやデジタル CS チューナーなどの高音質をそのまま MD コンポにデジタル録音できます。

オプティカル端子は、DVD プレーヤーやデジタル CS チューナーなどのデジタル音声を光信号で出力します。

用語解説

マルチダビング

複数のビデオデッキを再生用または録画用として、どちらの用途でも自由に選べてダビングできること。

S 映像信号

従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1 映像信号

S映像信号にフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。
16:9 のワイド画面でお楽しみいただけます。

S2 映像信号

S1映像信号に加え、ワイドクリアビジョン放送であるかを自動識別するための識別信号を重畳させた信号です。

コンポジット映像信号

S 映像信号の輝度信号（Y）と色信号（C）を合成した信号です。

OPTICAL（オプティカル）（光デジタル）端子

CD、DVDからMDなどのデジタル録音機器へ高音質をそのままデジタル録音します。

コンポーネント端子

DVD などの高画質な映像信号（Y、Pb/Cb、Pr/Cr）を信号間の干渉なく高性能モニターに送ります。

ハイビジョン放送

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本、画面比率16:9 で約 5 倍の情報量を持った画像を放送します。

デジタル CS 放送

通信衛星（Communication Satellite）を利用したテレビ放送です。一般的には「CS放送」と呼ばれています。従来のアナログ CS 放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しむことができます。

DV 方式

デジタルビデオ方式にはデジタルビデオカメラなどに使われている DV 方式があります。
MPEG のデジタルテレビ放送を DV 記録するために、一度ベースバンド信号に直し DV 圧縮します。

i.LINK（アイリンク）

i.LINKとは、i.LINK端子を持つDV機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINKは、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）1394 − 1995 およびその拡張仕様を示す呼称です。
i.LINKとi.LINKロゴ「 」はソニー株式会社の商標です。

D-VHS

D-VHSテープを使った新規格のデジタルメモリーシステムです。
デジタル動画など大量な情報を記録しなければならないマルチメディア用メモリーとして開発されました。特長のひとつに、入力されたデジタル信号をそのまま記録する **＊ビットストリーム記録方式**を採用しています。

＊ ビットストリーム記録

デジタル放送など、すでに圧縮やスクランブルなど加工された信号をそのままの形でテープ上に記録し、入力された信号と同じ形で出力することを「ビットストリーム記録」といいます。
ビットストリーム記録機は、アナログ→デジタル変換、デジタル→アナログ変換、デジタル圧縮／伸長、スクランブル解除等の機能はなく、そのままでは記録された信号を再生しても映像や音声にはなりません。
映像や音声として再生するためには、デジタル放送の受信機が持っているデータ→映像･音声変換器を経由する必要があります。

ブロックダイヤグラム

プロセッサー入出力
(ビデオ/オーディオ)
(フロント)
A系統
オーディオ信号
S映像信号
S/V切換回路
入力1
オーディオ
映像/S映像
入力2
オーディオ
映像/S映像
入力3(フロント)
オーディオ
映像/S映像
入力4
オーディオ
映像/S映像
入力5
オーディオ
映像/S映像
入力6
オーディオ
映像/S映像
入力7
オーディオ
光オーディオ
S映像
コンポーネント
入力8
オーディオ
光オーディオ
S映像
コンポーネント
入力切換回路
INPUT
SELECT
オーディオ信号
S映像信号
映像信号
プロセッサー
切換回路
Y/C分離回路
Y/C混合回路
映像信号
S/V切換回路
B系統
Y/C混合回路
オーディオ信号
S映像信号

オーディオ信号(A系)
S映像信号(A系)
映像信号(A系)
出力切換回路
INHIBIT
オーディオ
映像/S映像
出力1
オーディオ
映像/S映像
出力2
オーディオ
映像/S映像
出力4
オーディオ
映像/S映像
出力5
オーディオ
映像/S映像
出力6
モニター出力
切換回路
MONITOR
SELECT
オーディオ信号(B系)
S映像信号(B系)
映像信号(B系)
オーディオ出力
オーディオ
映像/S映像
モニター出力1
オーディオ
S映像
モニター出力2
光オーディオ信号
光オーディオ
コンポーネント映像信号
コンポーネント
PHYレイヤー・
トランシーバー
DV切換回路
DV1
DV2
DV3
DV入出力

その他

故障かな？と思う前に

症状		原因	処置	ページ
電源	電源が入らない	• 電源コードがコンセントから抜けていませんか？	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。	—
	電源がOFFできない	• ロック機能がONになっていませんか？	• ロック機能をOFFにしてから電源ボタンを押してOFFにしてください。	47
再生	見たい映像が見られない	• ビデオ機器が入出力端子に正しく接続されていますか？	• もう一度確かめて正しく接続してください。	14、18
		• モニター出力端子にテレビが正しく接続されていますか？	• もう一度確かめて正しく接続してください。	14、18
		• プロセッサーがONになっていませんか？	• プロセッサーをOFFにしてください。	39
		• ロック機能がONになっていませんか？	• ロック機能をOFFにしてからインプットセレクトボタンを選んでください。	47
	ビデオデッキを再生すると映像が乱れる	• INHIBITがOFFになっていませんか？	• INHIBITをONにしてください。	15、45
録画	ダビングしたテープに映像が録画されていない	• 再生用または録画用ビデオデッキは入出力端子に正しく接続され、インプットセレクトボタンが正しく選ばれていますか？	• もう一度確かめて正しく接続して、インプットセレクトボタンを選んでください。	16、17
		• 録画用ビデオデッキの入力切換スイッチが“外部”になっていますか?	• 録画側ビデオデッキの入力切換スイッチを“外部”にしてください。	17
		• 録画側のS映像端子付きビデオデッキにおいて、映像の切換スイッチの“S入力信号”、“ビデオ入力信号”が正しく設定されていますか?	• 録画側ビデオデッキの映像切換スイッチを正しく合わせてください。	17
		• ビデオプロセッサーを接続していないのに“PEOCESSOR VIDEO”の表示が点灯していませんか?	• リモコンの“PROCESSOR VIDEO”ボタンを押して解除してください。	39
	ダビングしたテープに音声が録音されていない	• オーディオプロセッサーを接続していないのに“PROCESSOR AUDIO”の表示が点灯していませんか?	• リモコンの“PROCESSOR AUDIO”ボタンを押して解除してください。	39
	パラレルダビングができない	• ビデオ機器が入出力端子に正しく接続されていますか？	• もう一度確かめて正しく接続してください。	20
		• 系統ごとの出力に合わせてソースを選んでいますか？	• A系統、B系統の入出力をもう一度確かめてインプットセレクトボタンを押してください。	21、46
	プロセッサーを使ってダビングができない	• S映像端子付きビデオデッキとの接続が正しく行われていますか？	• もう一度確かめて正しく接続してください。	36、38
		• プロセッサーの種類に合わせた接続が行われていますか？	• プロセッサーの種類に合わせて正しく接続してください。	38、39

症　状		原　因	処　置	ページ
録画（DV）	**ダビングしたテープに映像が録画されていない**	• 再生用または録画用DV機器のインターフェースは同じですか？（DV端子またはi.LINK端子）	• 再生用または録画用のDV機器を確認してください。	**47**
		• 再生用または録画用DV機器のDVセレクトボタンが正しく選ばれていますか？	• もう一度確かめて、DVセレクトボタンを選んでください。	**31、33**
		• 録画側ビデオデッキの入力切換スイッチが“外部”になっていますか？	• 録画側ビデオデッキの入力切換スイッチを“外部”にしてください。	**31**
リモコン	**リモコン操作ができない**	• リモコンの乾電池が消耗していませんか？	• リモコンの乾電池を２本とも新しい乾電池に交換してください。	**11**
		• 乾電池の極性を間違えて入れていませんか？	• 正しく入れ直してください。	**11**

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9（木村ビル）
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1099

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		近　畿		
滋　賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋　賀S.S.	(077) 582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京　都 南　部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京　　都S.C.	(075) 313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京　都 北　部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773) 22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈　良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈　良S.S.	(07442) 4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大　阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大　　阪S.C. 大 阪 南S.C. 堺　S.C.	(06) 6304-5731 (06) 6768-5489 (0722) 54-2881	532-0027 543-0028 591-8032	大阪市淀川区田川2-4-28 大阪市天王寺区小橋町10-16 堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業 務 機 器 C	(06) 6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S. 田　辺S.S.	(0734) 72-6799 (0739) 22-9914	640-8323 646-0023	和歌山市太田430-8 田辺市文里1-19-18
兵　庫 東　部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　　阪S.C.	(06) 6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神　　戸S.C. 明　石S.S	(078) 252-0562 (078) 924-1104	651-0086 673-0018	神戸市中央区磯上通3-2-16 明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵　庫 西　部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫　路S.S.	(0792) 34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
		中　国		
岡　山	岡　　山S.C.	(086) 243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広　島	広　　島S.C. 福　山S.S.	(082) 243-9839 (0849) 31-6984	730-0825 721-0973	広島市中区光南3-9-17 福山市南蔵王町3-5-15
山　口	山　　口S.C. 徳　山S.S. 下　関S.S.	(0839) 73-3708 (0834) 27-1331 (0832) 51-1040	754-0022 745-0042 751-0852	吉敷郡小郡町花園町5-28 徳山市野上町2-35 下関市熊野町2-14-23
		四　国		
香　川	高　　松S.C.	(087) 866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳　島	徳　　島S.C.	(088) 622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高　知	高　知S.S.	(088) 882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛　媛	松　　山S.C. 宇和島S.S. 新居浜S.S.	(089) 923-0372 (0895) 20-1018 (0897) 67-1030	791-8015 798-0087 792-0881	松山市中央1-4-12 宇和島市坂下津甲407-40 新居浜市松神子2-2-25
		九 州・沖 縄		
福　岡	福　　岡S.C. 久 留 米S.C. 北 九 州S.C.	(092) 431-1261 (0942) 39-3495 (093) 921-3981	812-0011 830-0038 802-0065	福岡市博多区博多駅前4-16-1 久留米市西町字神浦1-1192 北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐　賀	佐　賀S.S.	(0952) 26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長　崎	長　　崎S.C. 佐世保S.S.	(095) 862-5522 (0956) 33-5568	852-8021 857-1166	長崎市城山町9-13 佐世保市木風町1467-2
大　分	大　　分S.C.	(097) 543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊　本	熊　　本S.C.	(096) 353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮　崎	宮　崎S.S. 延　岡S.S.	(0985) 24-5401 (0982) 35-7077	880-0032 882-0857	宮崎市霧島町3-59 延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿 児 島S.C.	(099) 267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖　縄	沖　　縄S.C.	(098) 898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
		山　陰		
島　根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852) 31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係 浜田営業所サービス係	(0853) 21-4611 (0855) 22-1584	693-0001 697-0023	出雲市今市町854 浜田市長沢町671-1
鳥　取	鳥取営業所サービス係	(0857) 23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

窓口	TEL	〒	所在地
お客様ご相談センター	(03) 5684-9311 (06) 6765-4161	113-0033 543-0028	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル 大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

サービスネットワークＢＳ　9001

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

保証期間
お買い上げから１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

このAVセレクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口（**54**、**55**ページのビクターサービス窓口案内をご覧ください）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

52、**53**ページ「故障かな？と思う前に」にしたがってお調べいただき、なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	AVセレクター
型名	**JX-S777**
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　）　－
訪問希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただくこともあります。

便利メモ

お買い上げの販売店	お近くのビクターサービス窓口
電話（　）　－	電話（　）　－

主な仕様

仕様および外観は、改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。

商品名	AV セレクター
入出力端子	入力　８系統（内、フロントに１）（S、V、L/R）×６、（コンポーネント、S、L/R、光角）×２ 出力　５系統（S、V、L/R）×５ ＤＶ入出力　３系統（内、フロントに１） モニター出力　２系統（S、V、L/R）×１、（コンポーネント、S、L/R）×１ プロセッサー入出力　１系統（フロントに入出力各１）（S、V、L/R）×各１ 音声出力　１系統 音声出力１（アナログ+光）（L/R、光角）×１
映像入力	**基準入力** • コンポジット信号　Vp-p = 1.0V (75 Ω) • コンポーネント信号 Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Cb/Pb ：Vp-p = 0.7V (75Ω) Cr/Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
	最大入力 • コンポジット信号　Vp-p = 1.2V • コンポーネント信号 Y　：Vp-p = 1.5V Cb/Pb ：Vp-p = 1.0V Cr/Pr　：Vp-p = 1.0V
映像出力 （基準入力時）	**コンポジット信号**　Vp-p = 1.0V (75 Ω) **コンポーネント信号** Y　：Vp-p = 1.0V (75Ω) Cb/Pb ：Vp-p = 0.7V (75Ω) Cr/Pr　：Vp-p = 0.7V (75Ω)
映像クロストーク	50dB 以上 （同 CH Y/C 間 45dB 以上）
映像Ｓ／Ｎ比	50dB 以上
映像周波数帯域	コンポジット信号：13MHz　コンポーネント信号：30 MHz
音声入力	基準入力－ 10dBV/47kΩ 最大入力＋ 6dBV/1kHz　1%歪時
音声出力	－ 10dBV（基準入力時　1kHz）
音声クロストーク	80dB 以上（1kHz）
音声Ｓ／Ｎ比	80dB 以上
音声周波数特性	5Hz ～ 50kHz
歪率	0.01%以下（基準入力時　1kHz）
光デジタル信号 （OPTICAL）	ピーク発光波長　660nm ± 30nm ピーク光出力　－ 15dBm ～－ 21dBm （基準光ファイバ出力端）
電源	AC100V　50Hz/60Hz
消費電力	13W （スタンバイ時 1.1W）
外形寸法	幅 43.5 cm×高さ10.4 cm×奥行き 26.0 cm　（突起部、脚部を含む）
質量	3.8kg
付属品	リモコン 単３乾電池　２本（動作確認用）

目的別索引

映像を見る／ダビングする

デジタル録画／録音

編　集

システム的に使用する

アルファベット順

五十音順

JX-S777　AVセレクター　取扱説明書

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
54、55ページのビクターサービス窓口案内をご覧ください。	東京　☎(03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪　☎(06) 6765-4161 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

AVアクセサリー事業部
〒242-8514　神奈川県大和市下鶴間1644
電話 (046) 278-1801

© 2000 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

J5000-191B